平成２２年度

教　育　委　員　会
教育行政点検・評価
報　　告　　書

（対象：平成２１年度主要施策）

秦野市教育委員会

はじめに

平成１８年１２月に「教育基本法」が、翌年には「教育三法」が改正され、これからの教育のあるべき姿、目指すべき理念が明らかにされました。秦野市教育委員会では、平成２１年３月に新しい教育基本法に定める教育の目的及び理念を踏まえつつ、本市の市民憲章の精神に基づいた新たな教育目標を策定しました。

秦野市教育委員会では、教育目標に掲げている、①平和を愛する豊かな心を持つ人、②人や自然との共生・共存を大切にする人、③夢の実現に向けてたくましく生きる人、④新しい文化を創造する人、⑤自ら学び、考え、行動する人などを育て、支援するため、各種の施策に取り組んでまいります。

同時に、平成２０年度から地方教育行政の組織及び運営に関する法律により義務化された教育委員会の点検・評価についても、新たな本市の「はだの子どもプラン（仮称）」を見据えながら、点検・評価を行うことといたしました。

一つ目として、平成２１年度に開催した会議や教育委員一人ひとりが参加した事業等について、その活動状況について点検・評価いたしました。

二つ目としては、教育委員会が平成２１年度に取り組むべき主要施策について、点検・評価を行いました。

また、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用に当たっては、昨年同様、教育関係者（市立幼稚園長、市立小・中学校長）及び生涯学習関係委員（社会教育委員、スポーツ振興審議会委員、図書館協議会委員）に、各施策に対する客観的な評価をお願いするとともに、大学教授に専門的な見地から総合的な評価、御意見をいただきました。

目　　次

第１章　点検・評価の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
　１　点検・評価の目的　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
　２　点検・評価の対象　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
　(1)　教育委員会の活動状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
　(2)　平成２１年度主要施策　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
　３　点検・評価の進め方　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
　(1)　教育行政点検・評価の実施に関する主な経過　・・・・・・・・・・　2
　(2)　教育に関する学識経験者　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3
　(3)　教育関係者（市立幼稚園長、小・中学校長）　・・・・・・・・・・　3
　(4)　生涯学習関係者（社会教育委員、スポーツ振興審議会委員、図書館協議会委員）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5
第２章　教育委員会の活動状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
　１　平成２１年度　秦野市教育委員会基本方針　・・・・・・・・・・・・・　6
　２　教育委員会委員　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
　３　教育委員会会議の開催状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7
　４　教育委員会会議の審議等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8
　(1)　教育長報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8
　(2)　議案　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　14
　(3)　請願　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　15
　(4)　協議事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　16
　(5)　その他　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　17
　(6)　選挙　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　17
　５　教育委員会会議以外の活動状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　18
　６　教育委員会の活動状況についての点検・評価　・・・・・・・・・・・・　22
第３章　平成２１年度主要施策等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　25
　１　「平成２１年度主要施策等」の点検・評価　・・・・・・・・・・・・・　25
　(1)　自己点検・評価　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　25
　(2)　外部評価　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　25
　(3)　評価の集計　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　26
　(4)　教育委員の評価　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　26
　(5)　平成２１年度主要施策等一覧　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　27
　(6)　点検・評価の結果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　29
第４章　学識経験者の知見　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　50

第１章　点検・評価の概要

１　点検・評価の目的

「秦野市教育委員会基本方針」に沿って、広範かつ専門的な具体の教育行政事務が効果的に執行されているかを、教育委員会自らが事後にチェックし、その活動を改善・充実するとともに、市民に対する説明責任を果たすことを目的とします。

２　点検・評価の対象

今年度は、平成２１年度における教育委員会の活動状況並びに平成２１年度に取り組むべき主要な施策に掲げる個別事業４２事業について点検・評価を実施しました。

(1)　教育委員会の活動状況

ア　教育委員会会議の開催状況

イ　教育委員会会議の審議等の状況

ウ　教育委員会会議以外の活動状況

(2)　平成２１年度主要施策

ア　園児、児童及び生徒が安全で安心して充実した学習ができる教育環境を計画的に整備します。

イ　人権尊重、人間教育を基盤とした教育実践の継続により、いじめや不登校のない学校教育の充実を図ります。

ウ　子ども一人ひとりの教育ニーズに対応した教育の充実を図ります。

エ　市民の自主的主体的な学習文化活動を支援するとともに、地域、学校、行政の連携による特色ある事業を実施し、生涯学習の振興を図ります。

オ　生涯スポーツの普及に向け、活動への支援と施設の充実に努めます。

カ　快適で市民の役に立つ図書館を目指し、図書館サービスを充実します。

キ　「はだの子ども教育プラン」を見直し、新たに「はだの教育プラン（仮称）」の策定に取り組みます。

ク　第６１回全国植樹祭開催への協力及び周知に努めます。

３　点検・評価の進め方

点検・評価の実施に当たっては、平成２２年６月の教育委員会会議で協議した「平成２２年度教育委員会の点検評価について」及び「教育委員会点検・評

価のスケジュール」により実施しました。

平成２１年度における教育委員会の活動状況については、教育委員会会議の開催状況、審議等の状況、教育委員会会議以外の活動状況を点検し、「教育委員会の役割」、「教育委員会会議の活性化」、「教育委員会会議の透明性」及び「教育に関する情報収集」など４つの項目について評価しました。

平成２１年度の主要な施策については、事務局各担当課等の自己評価と併せて、教育総務関係事業については、教育関係者として、市立幼稚園長１４名、市立小学校長１３名、市立中学校長９名の合計３６名から客観的な評価を受けることにより、教育現場の声を重視しました。

また、生涯学習関係事業については、社会教育委員会議正副議長、スポーツ振興審議会会長及び委員、図書館協議会会長及び副会長から、客観的な評価を受けることとしました。そして、教育総務関係及び生涯学習関係に関する学識経験者からいただいた総合的な評価、意見等を踏まえ、教育委員会としての点検・評価を実施しました。

(1)　教育行政点検・評価の実施に関する主な経過

平成２２年５月１７日（月）
　教育委員会の点検・評価について、事務局打合せ
平成２２年５月２１日（金）
　定例教育委員会会議で点検・評価の方向性について協議
平成２２年６月１０日（木）
　教育委員会の点検・評価について、事務局打合せ
平成２２年６月１８日（金）
　定例教育委員会会議で点検・評価の方向性について協議
平成２２年６月１８日（金）～３０日（水）
　事務局各課等による自己点検・評価
平成２２年７月１４日（水）～２２日（木）
　市立幼稚園長、市立小・中学校長による評価
平成２２年７月１４日（水）～２２日（木）
　社会教育委員、スポーツ振興審議会委員、図書館協議会委員による評価
平成２２年７月９日（金）
　教育委員会の点検・評価について、事務局打合せ
平成２２年７月１６日（金）
　定例教育委員会会議で点検・評価の内容について協議

平成２２年７月２２日（木）
　教育に関する学識経験者と、点検・評価について打合せ
平成２２年８月４日（水）
　点検・評価に関する学習会開催
　「平成２２年度教育委員会教育行政点検・評価報告書」を協議

(2)　教育に関する学識経験者

氏　　名	所　　属　・　役　　職
小　林　正　稔 （教育総務関係）	神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部社会福祉学科 神奈川県立保健福祉大学大学院保健福祉研究科 　教授
逢　坂　伸　一 （生涯学習関係）	東海大学課程資格教育センター 　教授

(3)　教育関係者（市立幼稚園長、小・中学校長）

	氏　　名	職　　名
幼稚園	糟　谷　松　夫	本町幼稚園長
	柏　木　弘　子	南幼稚園長
	桐　山　容　子	東幼稚園長
	米　山　　恵	北幼稚園長
	古　谷　和　子	大根幼稚園長
	長　崎　美江子	西幼稚園長
	柳　川　ゆき子	上幼稚園長
	飯　尾　ひとみ	ひろはた幼稚園長
	横　尾　智　子	みどり幼稚園長
	小　林　俊　子	すえひろ幼稚園長
	池　田　真理子	しぶさわ幼稚園長
	加　藤　由紀子	みなみがおか幼稚園長
	坂　間　　操	ほりかわ幼稚園長
	源　田　和　代	つるまきだい幼稚園長

	氏　　名	職　　名
小学校	糟　谷　松　夫	本町小学校長
	伏　見　　徹	南小学校長
	高　橋　眞　琴	東小学校長
	小　澤　　博	北小学校長
	岡　崎　里　司	大根小学校長
	六本木　　康	西小学校長
	柳　川　ゆき子	上小学校長
	北　村　芳　子	広畑小学校長
	井　上　哲　夫	渋沢小学校長
	石　井　千　昭	末広小学校長
	後　藤　清　志	南が丘小学校長
	相　原　雅　徳	堀川小学校長
	府　川　幸　生	鶴巻小学校長
中学校	古　屋　　茂	本町中学校長
	米　山　和　久	南中学校長
	山　口　　勝	東中学校長
	牛　田　洋　史	北中学校長
	川　口　一　正	大根中学校長
	渡　邊　　勝	西中学校長
	森　　基　夫	南が丘中学校長
	石　田　崇　男	渋沢中学校長
	相　田　敏　夫	鶴巻中学校長

(4)　生涯学習関係者

	氏　　名	職　　名
生涯学習関係者	○　社会教育委員会議	
	佐　野　美三雄	社会教育委員会議議長
	岡　田　榮　子	社会教育委員会議副議長
	○　スポーツ振興審議会	
	大　津　通　信	スポーツ振興審議会会長
	原　　正　一	スポーツ振興審議会委員
	○　図書館協議会	
	齋　藤　由佳里	図書館協議会会長
	飯　田　皓　一	図書館協議会副会長

第２章　教育委員会の活動状況

１　平成２１年度　秦野市教育委員会基本方針

(1)　園児、児童及び生徒が安全で安心して充実した学習ができる教育環境を計画的に整備します。
(2)　人権尊重、人間教育を基盤とした教育実践の継続により、いじめや不登校のない学校教育の充実を図ります。
(3)　子ども一人ひとりの教育ニーズに対応した教育の充実を図ります。
(4)　市民の自主的主体的な学習文化活動を支援するとともに、地域、学校、行政の連携による特色ある事業を実施し、生涯学習の振興を図ります。
(5)　生涯スポーツの普及に向け、活動への支援と施設の充実に努めます。
(6)　快適で市民の役に立つ図書館を目指し、図書館サービスを充実します。
(7)　「はだの子ども教育プラン」を見直し、新たに「はだの教育プラン(仮称)」の策定に取り組みます。
(8)　第６１回全国植樹祭開催への協力及び周知に努めます。

２　教育委員会委員

平成２１年４月１日現在

役　　職	氏　　名	就任年月日	任　　期
委員長	髙 野 二 郎	平成7年10月8日	平成 19 年 10 月 8 日 ～平成 23 年 10 月 7 日
委員長職務代理者	望 月 國 男	平成18年4月1日	平成 18 年 4 月 1 日 ～平成 22 年 3 月 31 日
委員	**髙 橋** 照 江	平成20年10月1日	平成 20 年 10 月 1 日 ～平成 24 年 9 月 30 日
委員	加 藤　剛	平成20年10月1日	平成 20 年 10 月 1 日 ～平成 24 年 9 月 30 日
教育長	金 子 信 夫	平成15年4月1日	平成 17 年 9 月 1 日 ～平成 21 年 8 月 31 日

※　金子教育長は、平成２１年９月１日から平成２５年８月３１日まで再任

３　教育委員会会議の開催状況

教育委員会では、原則として、毎月第３金曜日の午後１時３０分から定例教育委員会会議、必要に応じて臨時教育委員会会議を開催しています。

平成２１年度においては、定例会１２回及び臨時会３回を開催し、議案２３件を審議するとともに、２５件について協議しました。

【平成２１年度に開催した定例会及び臨時会】

開　催　日	会　　議	付議事件数
平成２１年 ４月１７日（金）	４月定例教育委員会 欠席委員　なし 傍 聴 者　５名	○教育長報告　１０件 ○請　　願　１件 ○協 議 事 項　１件
５月１８日（月）	５月臨時教育委員会 欠席委員　なし 傍 聴 者　なし	○協 議 事 項　１件
５月２６日（火）	５月定例教育委員会 欠席委員　なし 傍 聴 者　３名	○教育長報告　１０件 ○議　　案　２件 ○協 議 事 項　２件
６月１９日（金）	６月定例教育委員会 欠席委員　なし 傍 聴 者　２名	○教育長報告　９件 ○協 議 事 項　３件 ○そ　の　他　１件
７月１７日（金）	７月定例教育委員会 欠席委員　なし 傍 聴 者　４名	○教育長報告　８件 ○請　　願　１件 ○議　　案　４件 ○協 議 事 項　２件
８月　７日（金）	８月臨時教育委員会 欠席委員　なし 傍 聴 者　なし	○議　　案　２件
８月２４日（月）	８月定例教育委員会 欠席委員　なし 傍 聴 者　１名	○教育長報告　１１件 ○議　　案　３件 ○協 議 事 項　１件 ○そ　の　他　１件
９月　１日（火）	９月臨時教育委員会 欠席委員　なし 傍 聴 者　なし	○議　　案　１件
９月２４日（木）	９月定例教育委員会 欠席委員　なし 傍 聴 者　２名	○教育長報告　１１件 ○協 議 事 項　１件 ○選　　挙　１件

開　催　日	会　　議	付議事件数
１０月１６日（金）	１０月定例教育委員会 欠席委員　なし 傍 聴 者　２名	○教育長報告　１０件 ○議　　案　２件 ○協 議 事 項　４件
１１月１３日（金）	１１月定例教育委員会 欠席委員　なし 傍 聴 者　２名	○教育長報告　９件 ○議　　案　１件 ○協 議 事 項　４件
１２月１８日（金）	１２月定例教育委員会 欠席委員　１名 傍 聴 者　８名	○教育長報告　１２件 ○議　　案　１件 ○協 議 事 項　３件 ○そ　の　他　１件
平成２２年 １月１５日（金）	１月定例教育委員会 欠席委員　１名 傍 聴 者　３名	○教育長報告　１０件 ○議　　案　２件 ○協 議 事 項　１件
２月１９日（金）	２月定例教育委員会 欠席委員　なし 傍 聴 者　２名	○教育長報告　１２件 ○議　　案　２件 ○協 議 事 項　２件
３月１９日（金）	３月定例教育委員会 欠席委員　なし 傍 聴 者　３名	○教育長報告　１６件 ○議　　案　３件 ○請　　願　１件
定例教育委員会　１２回 臨時教育委員会　　３回		○教育長報告　１２８件 （一　　般　１２２件） （臨時代理　　６件） ○議　　案　２３件 ○請　　願　３件 ○協 議 事 項　２５件 ○そ　の　他　３件 ○選　　挙　１件

４　教育委員会会議の審議等の状況

平成２１年度の教育委員会会議においては、議案２３件及び請願３件について審議、２５件について協議し、また、教育長の臨時代理６件を含む１２８の案件及びその他３件について質疑応答を行うとともに選挙１件を行いました。

(1)　教育長報告【１２８件】

番号	案件名	報告日
1	平成２１年秦野市議会第１回定例会報告について	平成２１年 4月１７日

番号	案件名	報告日
2	平成２１年度教育委員会人事異動について	4月17日
3	平成２１年度学級編制について	4月17日
4	平成２１年度教育指導課・教育研究所事業計画について	4月17日
5	平成２１年度全国学力・学習状況調査の実施について	4月17日
6	２学期制研究推進校研究中間報告について	4月17日
7	学校専門相談員の業務について	4月17日
8	平成２１年度秦野市適応指導教室「いずみ」の運営要領について	4月17日
9	平成２１年度広域連携中学生交流洋上体験研修事業実施について	4月17日
10	周知の埋蔵文化財包蔵地の変更について	4月17日
11	平成２０年度秦野市一般会計予算継続費逓次繰越について	5月26日
12	財団法人秦野市学校建設公社の経営状況について	5月26日
13	平成２１年度園児・児童・生徒数について	5月26日
14	平成２１年度教科書展示会の開催について	5月26日
15	全国植樹祭「かながわプレ大会２００９」秦野市中学生吹奏楽団参加事業について	5月26日
16	教育研究所「環境教育ハンドブック　しぜんとあそぼう」等刊行物について	5月26日
17	財団法人秦野市スポーツ振興財団の経営状況について	5月26日
18	第６１回全国植樹祭記念　第２２回夕暮祭短歌大会の応募状況について	5月26日
19	喫茶及び本のリユースコーナーの開催結果について	5月26日
20	修学旅行の実施状況等について	6月19日
21	ふれあい通学合宿の実施について	6月19日
22	宮永岳彦記念美術館ギャラリーコンサートの実施について	6月19日
23	第５４回秦野市総合体育大会の開催について	6月19日
24	「文部科学省問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」による秦野市の状況について	6月19日
25	子どもの事件・事故等について	6月19日

番号	案件名	報告日
26	学校ＩＣＴについて	6月１９日
27	小学校給食調理業務の委託について	6月１９日
28	秦野市教育研究所公開講座について	6月１９日
29	平成２１年秦野市議会第２回定例会報告について	7月１７日
30	平成２１年度トップアスリート派遣指導事業について	7月１７日
31	平成２１年度教育研究発表会について	7月１７日
32	平成２１年度はだのっ子アワード事業について	7月１７日
33	平成２１年度広域連携中学生交流洋上体験研修事業開催について	7月１７日
34	第２３回夕暮記念こども短歌大会について	7月１７日
35	小学校、幼稚園等教職員対象絵本の読み聞かせ講座について	7月１７日
36	子どもの事件・事故等について	7月１７日
37	中学校生徒水難事故について	8月２４日
38	ふるさと秦野検定について	8月２４日
39	夏季休業中の教育研修事業の開催結果について	8月２４日
40	「ふれあい通学合宿」実施結果について	8月２４日
41	広域連携中学生交流洋上体験研修事業の実施結果について	8月２４日
42	第５回はだの丹沢水無川マラソン大会開催について	8月２４日
43	指定管理者の総括について	8月２４日
44	ブックスタート事業の経過について	8月２４日
45	文学散歩について～小田原文学館と白秋童謡館を訪ねる旅～	8月２４日
46	市民大学（専門学習塾コース）について	8月２４日
47	事件・事故等について	8月２４日
48	平成２１年秦野市議会第３回定例会報告について	9月２４日

番号	案件名	報告日
49	第２２回はだの子ども野外造形展の開催について	9月２４日
50	平成２１年度「のびゆくみんなの交流会」の開催について	9月２４日
51	子どもの事件・事故等について	9月２４日
52	全国学力・学習状況調査の結果について	9月２４日
53	第２７回子どもの市展開催について	9月２４日
54	市民大学「ふるさと再発見コース」の開催について	9月２４日
55	第３回全日本ジュニア短歌大会の結果について	9月２４日
56	楽しい絵本とおはなしの講座について	9月２４日
57	喫茶・本のリユースコーナーについて	9月２４日
58	新型インフルエンザへの対応について	9月２４日
59	部活動中の事故について	１０月１６日
60	「第２２回インターナショナルフェスティバル」の開催について	１０月１６日
61	第６２回全国優良公民館表彰について	１０月１６日
62	第３９回秦野市展開催について	１０月１６日
63	平成２１年度特別展「秦野に眠るナチュラリスト直良信夫展」開催について	１０月１６日
64	「かながわアスリートネットワーク」野球教室の開催結果について	１０月１６日
65	武道体験コーナーの開催について	１０月１６日
66	花音（かのん）朗読コンサートについて	１０月１６日
67	第２３回夕暮記念こども短歌大会応募状況について	１０月１６日
68	さわやかウォークの開催結果について	１０月１６日
69	本町中学校新校舎建設計画について	１１月１３日
70	「第２２回はだの子ども野外造形展」の開催結果について	１１月１３日
71	「平成２１年度第２回いじめを考える児童生徒委員会」開催結果について	１１月１３日

番号	案件名	報告日
72	平成２１年度「のびゆくみんなの交流会」の中止について	１１月１３日
73	宮永岳彦記念美術館クリスマスイベントについて	１１月１３日
74	市民の日健康マラソン及びニュースポーツコーナー事業結果について	１１月１３日
75	英語によるおはなし会について	１１月１３日
76	事件・事故等について	１１月１３日
77	平成２１年秦野市議会第４回定例会報告について	１２月１８日
78	新型インフルエンザに係る学年閉鎖について	１２月１８日
79	「第２２回インターナショナルフェスティバル」の開催結果について	１２月１８日
80	「いじめを考える児童・生徒委員会」の開催結果について	１２月１８日
81	大根小学校国語研究発表会の開催結果について	１２月１８日
82	平成２１年度はだのっ子アワード表彰式について	１２月１８日
83	第５回はだの丹沢水無川マラソン大会の開催結果について	１２月１８日
84	職務遂行に支障のある職員への対応の手引きの制定について	１２月１８日
85	学校、保育園等における事故処理対応のための法律実務研修会について	１２月１８日
86	平成２１年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について	１２月１８日
87	幼稚園、小・中学校に対する寄附の採納基準について	１２月１８日
88	事件・事故等について	１２月１８日
89	インフルエンザに係る学級閉鎖について	平成２２年 １月１５日
90	「教育長年頭あいさつ」について	１月１５日
91	秦野市学校教材選定検討委員会について	１月１５日
92	第３６回親と子の音楽会開催について	１月１５日
93	人権講演会の開催について	１月１５日
94	第４１回元旦歩け歩け運動推進大会の結果について	１月１５日

番号	案件名	報告日
95	図書館リユース展について	1月１５日
96	ブックスタート事業１歳６か月児健診時アンケート結果について	1月１５日
97	本町中学校校舎改築事業（基本設計）経過について	1月１５日
98	学校事故に係る損害賠償専決処分の報告について	2月１９日
99	第１回秦野市学校教材選定検討委員会の開催結果について	2月１９日
100	鶴巻地区幼保小連携教育研究報告会について	2月１９日
101	宮永岳彦記念美術館展示替えについて	2月１９日
102	第５５回秦野市駅伝競走大会の結果について	2月１９日
103	第６４回市町村対抗「かながわ駅伝」競走大会の結果について	2月１９日
104	第６１回全国植樹祭記念第２３回夕暮祭短歌大会について	2月１９日
105	秦野市立南が丘小学校外国語活動研究報告会について	2月１９日
106	平成２２年３月の開催行事等について	2月１９日
107	大根小学校への苦情対応について	2月１９日
108	子どもの事件・事故について	2月１９日
109	平成２２年秦野市議会第１回定例会報告について	3月１９日
110	平成２２年４月の開催行事等について	3月１９日
111	第２回秦野市学校教材選定検討委員会の開催結果について	3月１９日
112	平成２１年度部活動検討会の報告について	3月１９日
113	平成２１年度就学指導の結果報告について	3月１９日
114	平成２２年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査への参加について	3月１９日
115	レポート集「不登校ゼロの学校はできるか」について	3月１９日
116	平成２１年度適応指導教室事業報告について	3月１９日
117	リユースコーナーの設置について	3月１９日

番号	案件名	報告日
118	新着図書コーナーの改善について	3月１９日
119	自動車文庫「たんざわ号」の巡回場所について	3月１９日
120	子どもの事件・事故について	3月１９日
121	秦野市中学校バンドフェスティバルの開催結果について	3月１９日
122	神奈川県暴力行為対策検討会議について	3月１９日

報告番号	臨時代理の報告について	報告日
H21－8	平成２１年度秦野市一般会計予算（教育費）の補正について	平成２１年 5月２６日
9	平成２１年度秦野市教育委員会教育功労者等表彰の候補者の追加について	１１月１３日
H22－1	秦野市立小中学校管理職の人事異動内申について	平成２２年 1月１５日
2	平成２１年度秦野市教育委員会教育長表彰の候補者の追加について	2月１９日
3	秦野市立小中学校管理職の退職の内申について	3月１９日
4	秦野市立小中学校管理職の任免の内申について	3月１９日

(2)　議　案【２３件】

議案番号	案件名	審議日
H21 -11	平成２２年度に秦野市立小学校及び中学校で使用する教科用図書の採択方針について	平成２１年 5月２６日
12	秦野市社会教育委員の委嘱について	5月２６日
13	平成２２年度に使用する小学校教科用図書の採択について	7月１７日
14	平成２２年度に使用する中学校教科用図書の採択について	7月１７日
15	平成２２年度に使用する学校教育法附則第９条による教科用図書の採択について	7月１７日
16	図書館協議会委員の委嘱について	7月１７日
17	「平成２１年度教育委員会教育行政点検・評価報告書」について	8月　7日
18	寄附について	8月　7日

議案番号	案件名	審議日
19	平成２０年度秦野市一般会計（教育費）決算について	8月２４日
20	学校ＩＣＴ環境整備事業に係る秦野市一般会計予算（教育費）の補正について	8月２４日
21	緊急地震速報受信設備設置に係る秦野市一般会計予算（教育費）の補正について	8月２４日
22	秦野市教育委員会教育長の任命について	9月　１日
23	平成２１年度秦野市教育委員会教育功労者等表彰について	１０月１６日
24	平成２２年度秦野市立小・中学校県費負担教職員人事異動方針について	１０月１６日
25	秦野市指定重要文化財の指定について	１１月１３日
26	秦野市立幼稚園・小学校・中学校における学期制について	１２月１８日
H22－1	平成２１年度秦野市教育委員会教育長表彰について	平成２２年 1月１５日
2	秦野市指定重要文化財の指定について	1月１５日
3	平成２２年度秦野市一般会計（教育費）予算について	2月１９日
4	平成２１年度秦野市一般会計（教育費）予算の補正について	2月１９日
5	平成２２年度秦野市教育委員会基本方針及び主要施策について	3月１９日
6	秦野市教育委員会関係職員の職の設置等に関する規則及び秦野市教育委員会所管の公の施設の事務室等管理規則の一部を改正することについて	3月１９日
7	秦野市学校文書等の取扱いに関する規程の一部を改正することについて	3月１９日

(3)　請　願【３件】

番号	案件名	審議・報告日
1	教科書採択についての請願	平成２１年 4月１７日
2	教育基本法及び学習指導要領に最も適合している中学校歴史教科書の採択を求める請願	7月１７日
3	教科書採択についての請願	平成２２年 3月１９日

(4)　協議事項【２５件】

番号	案件名	協議日
1	平成２１年度秦野市教科用図書採択検討委員会について	平成21年 4月17日
2	新型インフルエンザへの対応について	5月18日
3	教育委員会の点検・評価について	5月26日
4	新型インフルエンザへの対応について	5月26日
5	平成２１年秦野市議会第２回定例会報告について	6月19日
6	教育委員会の点検・評価について	6月19日
7	修学旅行のキャンセル料の対応について	6月19日
8	教育委員会の点検・評価について	7月17日
9	寄附について	7月17日
10	秦野市立小中学校の学期制について	8月24日
11	小中一貫教育について	9月24日
12	秦野市幼稚園教育懇話会の開催について	10月16日
13	平成２０年度定期監査（本町小学校に存在する資金）の結果について	10月16日
14	不登校児童・生徒への支援のあり方について	10月16日
15	幼小一貫教育について	10月16日
16	平成２２年度秦野市一般会計予算（教育費）の編成について	11月13日
17	インフルエンザに係る治癒証明書の取扱いについて	11月13日
18	「はだの教育プラン（仮称）」の策定日程について	11月13日
19	幼小中一貫教育について	11月13日
20	平成２２年度秦野市一般会計予算（教育費）の編成について	12月18日
21	新型インフルエンザに係る学級閉鎖について	12月18日
22	学校体育施設の開放時間について	12月18日
23	平成２２年度学力学習状況調査について	平成22年 1月15日

番号	案件名	協議日
24	幼小一貫教育を推進するための取組みについて	2月１９日
25	教科用図書採択検討委員会のあり方について	2月１９日

(5)　その他【３件】

番号	案件名	協議・報告日
1	大阪府枚方市における全国学力・学習状況調査の学校毎の結果の情報公開に関する大阪地裁判決について	平成２１年 6月１９日
2	新型インフルエンザの対応について	8月２４日
3	平成２２年秦野市新成人のつどいの概要について	１2月１８日

(6)　選挙【１件】

番号	案件名	執行日
1	秦野市教育委員会委員長の選挙について	平成２１年 9月２４日

５　教育委員会会議以外の活動状況

平成２１年度においては、定例会のほか、学習会、学校訪問、教育施設等への視察、法令等の研修会、各種事業等の活動に３５回（延べ１０３人）参加・出席しました。

月　　日	活動等の名称	活　動　内　容	区分
平成２１年 ４月１４日（火）	神奈川県市町村教育委員会連合会 【教育総務課】	平成２１年度神奈川県市町村教育委員会連合会総会（相模原市）	会　議
４月１４日（火）	学習会 【教育指導課】	平成２２年度使用教科用図書採択について	学習会
４月１７日（金）	学習会 【教育指導課】	教科書採択についての請願	学習会
４月１７日（金）	視察 【生涯学習課】	桜土手古墳展示館	視　察
４月１７日（金）	教和会	事務局部課等との懇談会	懇談会
５月　８日（金）	秦野市教科用図書採択検討委員会 【教育指導課】	平成２２年度使用教科用図書の調査研究について	会　議
５月１３日（水）	学校訪問 【教育指導課】	教育課程、保育・学習指導、学校研究、教育課題等について協議及び指導、助言を行うため、教育委員会関係者が北中学校を訪問	学　校 訪　問
５月１８日（月）	学習会 【学校教育課】	新型インフルエンザ対策等について	学習会
５月１８日（月）	臨時園長・校長会 【学校教育課】	新型インフルエンザ対策等について	会　議
５月２２日（金）	関東甲信越静市町村教育委員会連合会 【教育総務課】	平成２１年度関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会（群馬県）	会　議 研修会
７月　５日（月） ～７月　８日（水）	ふれあい通学合宿 【生涯学習課】	広畑ふれあいプラザにて小学生５０人による通学合宿	事　業 参　加

月　　日	活動等の名称	活　動　内　容	区分
7月　7日（火）	秦野市教科用図書採択検討委員会 【教育指導課】	平成２２年度使用教科用図書の調査研究について	会　議
7月１７日（金）	学習会 【教育指導課】	教育基本法及び学習指導要領に最も適合している中学校歴史教科書の採択を求める請願	学習会
7月１９日（日）	第５４回秦野市総合体育大会 【スポーツ振興課】	市内６地区が全１６競技で優勝を競い合う大会	事　業 参　加
7月２１日（火）	学習会 【教育指導課】	秦野市立小中学校の学期制について	学習会
7月３０日（木）	学習会 【教育指導課】	秦野市立小中学校の学期制について	学習会
8月　7日（金）	学習会 【教育指導課】 【教育総務課】	①秦野市立小中学校の学期制について ②平成２１年度教育委員会点検・評価について	学習会
8月１９日（水）	第２７回教育研究発表会 【教育研究所】	平成２０年度の教育研究所研究部会の研究発表、こども園の取り組み発表及び子どもを育む懇談会の発表並びに園歌校歌ＣＤの完成披露	事　業 参　加
１０月２６日（月）	学校訪問 【教育指導課】	教育課程、保育・学習指導、学校研究、教育課題等について協議及び指導、助言を行うため、教育委員会関係者が渋沢中学校を訪問	学　校 訪　問
１１月　3日（火）	第３０回秦野市市民の日 【市民自治振興課】	市民の自主的な参加、企画運営による イベント	事　業 参　加
１１月　5日（木）	神奈川県市町村教育委員会連合会研修会 【教育総務課】	平成２１年度神奈川県市町村教育委員会連合会研修会（相模原市）	研修会
１１月　6日（金）	学校訪問 【教育指導課】	教育課程、保育・学習指導、学校研究、教育課題等について協議及び指導、助言を行うため、教育委員会関係者が本町小学校を訪問	学　校 訪　問

月　　日	活動等の名称	活　動　内　容	区分
１１月　７日（土）	インターナショナルフェスティバル 【教育指導課】	市内中学校からの希望参加生徒と外国人留学生等との交流イベント	事　業 参　加
１１月　９日（月）	教育功労者等表彰 【教育総務課】	本市の教育、学術及びスポーツの振興に貢献し、その功労又は功績が顕著である個人又は団体を表彰	式　典
１１月１４日（土）	いじめを考える児童生徒委員会 【教育指導課】	市内小中学校代表児童生徒と教員、保護者によるディスカッション	会　議
１２月１６日（水）	はだのっ子アワード表彰式 【教育研究所】	秦野の自然、風土、産業、伝統、文化その他の地域資源を活かした学習・体験の成果を表彰	式　典
平成２２年 １月　１日（金）	第４１回元旦歩け歩け運動推進大会 【スポーツ振興課】	権現山にて新年を祝うため元旦に行われる大会	事　業 参　加
１月　５日（火）	新年賀詞交歓会 【秘書課】	関係者を招待して行われる新年賀詞交歓会	式　典
１月１１日（月）	秦野市新成人のつどい 【こども育成課】	新成人を祝い励ますため、新成人の企画・運営による式典及びアトラクションを開催	式　典
２月　３日（水）	教育長表彰式 【教育総務課】	本市の教育、学術及びスポーツの振興に貢献し、その功労又は功績が顕著である小・中学生等を表彰	式　典
２月　３日（水）	秦野市教材選定検討委員会 【教育指導課】	学校教育における教材の価値や選定のあり方について	会　議
２月　５日（金）	懇談会 【教育総務課】	市長との懇談会	懇談会
２月２６日（金）	秦野市教材選定検討委員会 【教育指導課】	学校教育における教材の価値や選定のあり方について	会　議
３月１９日（金）	学習会 【教育指導課】	教科書採択についての請願	学習会

参加・出席数・・・・・合計３５回（延べ１０３人）

内訳			
	視　　察	１回	（延べ　５人）
	学校訪問	３回	（延べ　４人）
	懇 談 会	２回	（延べ　１０人）
	研 修 会	２回	（延べ　３人）
	学 習 会	８回	（延べ　３９人）
	会　　議	８回	（延べ　１８人）
	事業参加	６回	（延べ　１３人）
	式典等への参加	５回	（延べ　１１人）

６　教育委員会の活動状況についての点検・評価

教育委員会の役割、教育委員会会議の活性化・透明性及び教育に関する情報収集といった視点から点検し、評価しました。

点検項目	内容　※( )は２０年度	評価・意見
教育委員会の役割について	**指揮監督等** ○１８３件(１５８件) ○改善・充実等の指示や意見等の数　　４２件(４２件) ○反映等の結果 反映・実施　　２５件(２２件) 検討・一部実施　１２件(１６件) 現状維持・未実施　６件(４件)	レイマンコントロールの機能を生かして、それぞれの教育委員の立場から考えを議論した中で、できる限り意見の反映をすることができた。 また、予算を伴う案件については、２１年度、市長と懇談会を実施し改善に努めているが、今後も、市長部局と協議が必要である。
教育委員会会議の活性化について	**開催回数** ○定例会　１２回(１２回) ○臨時会　　３回(０回) ※規則で定める回数は毎月１回 **欠席委員数** ○延べ２人(延べ１人)	１２回の定例会及び３回の臨時会の中で、必要な審議時間が確保でき、慎重審議ができた。
	学習会等 ○必要に応じ、学習会を開催 ８回（７回)	重要な教育課題、教育施策について検討、協議するため適宜開催するとともに、教育を取り巻く今日的な課題や現在の教育の状況の中で、問題点を明確にするため開催し理解、見識を深めた。
	活性化への取組み ①資料は、会議開催３日前に事前配布 ⇒報告時間の短縮により質疑応答時間を確保 ②教育委員会の規則等の改廃は、教育委員の意見を反映するため、議案提出の前月定例会で協議 ③次年度予算は、編成の始まる時期に協議し、教育委員の意見を反映 ④次年度予算について市長と懇談	次年度予算について、市長と懇談会を実施し、意見交換を行った。 今後も、教育委員の意見反映のため、十分な審議時間の確保に努めたい。

点検項目	内容	評価・意見
教育委員会会議の透明性について	傍聴者数 ○延べ３７人(延べ２６人)	年々増加傾向にあり、特に保護者等の傍聴があった点は評価できるものの、今後も幅広い層の市民の関心を高める傍聴のあり方の工夫に努めたい。
	会議録の公開 ○会議録承認後、ホームページ等で公開	会議録承認後、速やかに公開している。
	情報発信 ○教育委員の名簿をはじめ、教育委員会の概要を「秦野の教育」として、市ホームページで紹介 ○教育委員会の開催日時、予定される議題等をホームページに事前掲載し、公告	教育委員会の透明性、公平性を図る観点から、今後も情報発信に努めたい。
教育に関する情報収集について	視察等 ①事務局の学校訪問等に教育委員が同行し、学校現場の状況を把握 ３回(１回) ②教育関係施設等の視察を実施 １回(１回)	教育委員一人ひとりの見聞を広めるため、教育行政、学校現場等の現状を認識するためにも欠くことはできない。今後も、計画的に実施していく必要がある。 併せて、他市等の状況、先進事例を把握・研究にも努めたい。
	研修会等への参加 ○必要に応じ、研修会等へ参加 ２回(２回)	教育委員一人ひとりの見識を深めるため、計画的に参加したい。

教育委員会の活動状況に対する総合評価
本教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の趣旨に則り、おおむね適正な活動や組織運営を行っている。 教育委員会会議では、各委員がそれぞれ高い関心と問題意識を持ち、重要な教育課題への対応や教育施策の方向性について活発な議論を行うとともに、緊急な教育課題について臨時会を開催するなど、迅速に対応した。 また、教育委員会の傍聴者が増加傾向にあり、教育に対する市民の関心の高まりを感じる中で、今後も一層の透明性、公平性を図ること、及び市民への情報発信に努めていきたい。 教育行政を円滑に推進するため、平成２１年度は、教育予算等について、市長との意見交換を実施した。教育委員会としてのビジョンを示し、説明するため、今後も定期的、計画的に実施していく必要がある。同時に、教育関係者等から現場の声を聴き、その実状に合わせた適切な施策を講じていくため、学校訪問だけでなく教育委員会会議や学習会で直接教職員等の意見を聴く機会を設けるなど計画的に実施していきたい。 平成２１年度は、教科用図書、新型インフルエンザ対策、市立小中学校の学期制、教育委員会の点検・評価など、重要、緊急な教育課題や施策について検討・協議し、情報や知識を習得するための学習会を開催したが、引き続き議論を深めるために必要な都度、学習会を開催していく。さらに、今後の本市教育行政を推進するため、他市町村の先進的な取組みについて教育行政視察を実施する必要がある。 教育行政における施策方針や事業計画の決定については、教育の専門家の独断に流されやすいこともあり、社会の良識や多様な民意を教育行政に反映していくためには、合議体である教育委員会により、大所、高所から十分な議論を行い、方針が決定されるようなレイマンコントロールの機能を生かした運営を引き続き行っていく。 今後も、山積する教育課題に対し適切に取り組んでいくとともに、地域や現場の実情に総合的かつ計画的に対応し、秦野の教育の充実に努めていきたい。

（注）　「レイマン」とは、単なる「素人」ではなく、一般的な学識、経験が豊かであり、人格が高潔の人であるが、教育の専門家ではないという意味で用いられているもの。

第３章　平成２１年度主要施策等

１　「平成２１年度主要施策」の点検・評価

(1)　自己点検・評価

ア　平成２１年度主要施策について、事務局各課等が点検･評価シートにより、自己点検・評価を実施しました。

イ　自己点検・評価をするに当たり、「代替性、役割分担、経済性、有効性、社会環境変化、必要性、公平性、点検・評価、予算、その他の課題」の 10 項目について、改善の必要性の観点から、「改善の必要性大、改善の必要性中、改善の必要性小」の３区分にわけ、それぞれ３点、２点、１点を付し、改善度自己評価合計点を算出し、次表のとおりＡ、Ｂ，Ｃの３段階の自己点検・評価を行いました。

点検・評価の区分	評価
継続又は拡充して実施（１１点以下）	A
改善・見直しの上実施（１２点以上）	B
廃止・休止を検討（１２点以上）	C

(2)　外部評価

ア　事務局各課が自己点検・評価した主要施策等のうち教育総務部所管の主要施策等については、幼稚園長、小学校長、中学校長に外部評価を依頼しました。

　また、生涯学習部所管の主要施策等については、社会教育委員会議正副議長、スポーツ振興審議会会長及び委員、図書館協議会会長及び副会長に外部評価を依頼しました。

イ　外部評価についても、次表のとおり、Ａ、Ｂ、Ｃの３段階での評価を行いました。

点検・評価の区分	評価
継続又は拡充して実施	A
改善・見直しの上実施	B
廃止・休止を検討	C

ウ　外部評価は、次のとおり依頼しました。

(ｱ)　幼稚園長・・・・・・・・・・幼稚園に関係する主要施策等

(ｲ)　小学校長・・・・・・・・・・小学校に関係する主要施策等

(ｳ)　中学校長・・・・・・・・・・中学校に関係する主要施策等
(ｴ)　社会教育委員・・・・・・・生涯学習に関する主要施策等
(ｵ)　図書館協議会委員・・・・・図書館に関する主要施策等
(ｶ)　スポーツ振興審議会委員・・スポーツ振興に関する主要施策等

(3)　評価の集計

ア　教育総務関係では、幼稚園長、小学校長、中学校長に共通する項目に対してはそれぞれを平均化し、また、生涯学習関係も社会教育委員、スポーツ振興審議会委員、図書館協議会委員に共通する項目については、それぞれを平均化して、Ａ、Ｂ、Ｃの３段階で評価しました。

イ　外部評価の平均欄は、外部評価者全体を平均化しました。

(4)　教育委員の評価

ア　点検・評価の視点

(ｱ)　平成２１年度の主要施策に関する個別事業について、施策の目的、効果、主要な取り組み、施策の目標・指標、自己評価チェック項目、改善度などからなる「点検・評価シート」を各担当課が事業ごとに作成するとともに、各担当課の改善度、自己評価を点数等として表記する方式での自己点検・評価を行った。

(ｲ)　外部評価として、教育総務部関連は、昨年度に引き続き幼稚園、小学校、中学校のそれぞれの責任者が同一項目について点検・評価を行うとともに、生涯学習部関連は、社会教育委員、スポーツ振興審議会委員、図書館協議会委員にお願いし、専門分野における点検・評価を行った。

　また、それぞれの外部評価における評価点を次年度の事業取組みの参考として、内容等の見直しや新たな指標の設定に取組むための参考とする。

(ｳ)　本年度の評価結果は、Ａ評価：３０事業、Ｂ評価：１２事業であった。評価結果に甘んずることなく、市民ニーズを的確に捉え、常に工夫改善をすべきである。

　また、３段階での評価は、段階が少ない分、大枠での評価となり、そこに内在する問題等が平均化されてしまった傾向があるので、次年度以降も付帯意見等を考慮した取組みを図る必要がある。

イ　点検・評価の表記

(ｱ)　文章表記（要旨）

　各教育委員から出された意見、要望、協議内容等を列記しています。

(ｲ)　３段階評価（ランク）

各項目について、次表のとおり、Ａ、Ｂ、Ｃの３つのランクでの教育委員会としての評価を行いました。

ランク	評価Ａ～Ｃの内容について
A	（継続又は拡充して実施） ・　施策としての必要性や要求度が高い事業が行われた。 ・　計画のとおり実施することができ、優れた取組みが多く見られた。 ・　目標に即した具体的な成果が十分に表れている。
B	（改善・見直しの上実施） ・　施策として必要性や要求度はあり、取組み方法等を見直すことにより今以上に成果が上がると考えられる。 ・　施策推進の計画や方法を再考し、継続的に取り組む必要がある。 ・　一定の成果が上がっているが、課題もあり、工夫・改善が必要である。
C	（廃止・休止を検討） ・　意義や必要性を含め、再検討及び改善の余地が多い。 ・　計画（プラン）より遅れている、或いは未実施である。 ・　目標、ねらいに即した成果が十分に上がっていない。

(5)　平成２１年度主要施策等一覧

No.	事　業　名	ランク	頁
１　園児、児童及び生徒が安全で安心して充実した学習ができる教育環境を計画的に整備します。			
1	本町中学校校舎改築事業	A	30
2	耐震診断委託事業	A	
3	地域ぐるみの安全体制の整備充実	B	
4	学校建設公社を活用した学校教育施設等の整備事業	A	
5	本町及び西中学校の校舎棟について耐震対策の実施	A	
6	新学習指導要領移行措置に伴う理科教材・教具の整備	A	32
7	学校教育の環境整備、教育活動の充実の推進	A	
8	新学習指導要領の実施に向けた、教育課程等に関わる調査研究の推進	A	
9	安全・安心な給食の推進	A	
２　人権尊重、人間教育を基盤とした教育実践の継続により、いじめや不登校のない学校教育の充実を図ります。			
10	道徳教育・人権教育の推進	A	34
11	いじめ・不登校対策事業の推進	A	
12	適応指導教室の運営の充実	A	
13	小学校巡回教育支援相談事業の充実	A	
14	里地里山自然環境活用学習の研究及び実践	B	
15	情報モラル教育の推進	B	36
16	はだのっ子アワード事業の推進	A	
３　子ども一人ひとりの教育ニーズに対応した教育の充実を図ります。			
17	学力の定着・向上に向けた教育の充実	A	38
18	体力の向上、健康の増進に向けた教育の充実	A	

No.	事　業　名	ﾗﾝｸ	頁
19	特別支援教育・就学指導の充実	A	38
20	教育指導助手派遣事業の充実	A	
21	特別支援介助員経費	A	
22	小学校外国語活動への対応と中学校英語活動の充実	A	40
23	学習支援協力者派遣事業の充実	B	
24	外国人児童生徒日本語指導推進事業の充実	A	
25	幼・保、小、中一貫教育の研究及び実践	A	
４　市民の自主的主体的な学習文化活動を支援するとともに、地域、学校、行政の連携による特色ある事業を実施し、生涯学習の振興を図ります。			
26	放課後の安心で安全な居場所の確保	A	42
27	市展、文化祭の開催等市民の文化活動の支援	B	
28	広畑ふれあい塾等学習成果を生かす機会の充実	B	
29	中学生の交流洋上体験学習の実施	B	
30	文化財の調査、保存、普及啓発の実施	B	
５　生涯スポーツの普及に向け、活動への支援と施設の充実に努めます。			
31	スポーツ施設等指定管理者制度検討委員会（仮称）の設置	B	44
32	中央運動公園等の整備事業の実施	A	
33	第５回はだの丹沢水無川（みなせ）マラソン大会等各種大会の開催	B	
６　快適で市民の役に立つ図書館を目指し、図書館サービスを充実します。			
34	開館日を拡大するとともに、南足柄市、山北町及び開成町と広域利用を進める等、図書館サービスを充実	A	44
35	長寿命化修繕計画に基づき空調機器を更新	A	
36	子ども読書活動及びブックスタートの推進	A	46
37	歌人の里づくりの推進	A	
７　「はだの子ども教育プラン」を見直し、新たに「はだの教育プラン（仮称）」の策定に取り組みます。			
38	「はだの教育プラン（仮称）」策定委員会の設置	B	48
８　第６１回全国植樹祭開催への協力及び周知に努めます。			
39	秦野市中学生吹奏楽団参加事業の実施	A	48
40	宮永ポストカード（丹沢）新規発行	B	
41	はだの丹沢水無川マラソン大会参加賞等へのロゴマークの活用	A	
42	夕暮祭短歌大会の拡大実施	A	

（６）　点検・評価の結果

	項　　目	目的・効果及び平成21年度の主な取組み	施策の目標				
			指標名	19年度（実績）	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度（目標）
1　園児、児童及び生徒が安全で安心して充実した学習ができる教育環境を計画的に整備します。							
1	本町中学校校舎改築事業	【目的・効果】 本町中学校の第2棟、第3棟は、昭和30年代に建設され、平成元年の公共施設の予備診断でDランクに、また、平成16年度の体力度調査で国の基準である5，000点を下回り耐震性に問題ありとの結果となったため、安全性に不安がある建物として建替えを行う。 【平成21年度の主な取組み】 〈平成21年度〉基本・実施設計委託業務　・地質調査委託業務、第3棟解体工事 〈平成22年度〉新校舎、渡り廊下建築工事（平成23年度継続） 〈平成23年度〉第2棟解体　・昇降口棟、渡り廊下建築工事（平成24年度継続）	実施設計の委託			実施	
			新校舎の建築				実施
			【平成21年度改善点】				
2	耐震診断委託事業	【目的・効果】 秦野市公共施設等の安全性の向上及び長寿命化の確保に関する指針に基づき、新耐震基準が適用される前の建築（昭和56年6月までに竣工）である建築物で、対象となる学校教育施設15棟のうち予備診断Bランクの5棟について、耐震診断の二次診断を行う。 【平成21年度の主な取組み】 耐震診断の実施箇所 ・本町小学校・末広小学校・西小学校 ・西幼稚園・しぶさわ幼稚園	耐震診断の実施個所			5箇所	10箇所
			【平成21年度改善点】				
3	地域ぐるみの安全体制の整備充実	【目的・効果】 「異年齢交流」「異世代交流」を積極的に進めていくことで、子どもたちの健全育成をめざすとともに、社会性や道徳観、正義感を身につけることができるようにする。 【平成21年度の主な取組み】 ・地域の特色を活かした、工夫した活動（田植え学習等） ・地域の大人と子どもが触れ合う活動（たばこ祭りジャンボ火起こし等） ・地域の子どもたちを見守る活動（あいさつ・声かけ運動、防犯パトロール）等	活動報告終了中学校区数	4	5	6	7
			スクールガードリーダー派遣		133時間	263時間	480時間
			【平成21年度改善点】 各校にスクールガードリーダーの利用を呼びかけを積極的に行った。				
4	学校建設公社を活用した学校教育施設等の整備事業	【目的・効果】 学校建設公社の事業運転資金として短期貸付を行うことにより、本市が行う学校教育施設の整備改修工事費用等の負担の軽減（平準化）を図る。 【平成21年度の主な取組み】 学校建設公社の事業運転資金の貸付改修工事の実施 ・ トイレ改修等事業（北小学校、ひろはた幼稚園） ・ 中学校音楽室空調設備設置等事業 ・ 屋上防水改修等事業（北幼稚園、大根幼稚園、みなみがおか幼稚園） ・ 小学校・中学校図書室扇風機設置等事業	改修事業件数（公社実施分）	31件	26件	24件	23件
			【平成21年度改善点】				
5	本町及び西中学校の校舎棟について耐震対策の実施	【目的・効果】 本町中学校の第2棟、第3棟及び西中学校の第1棟は、昭和30年代に建設され、平成元年の公共施設の予備診断でDランクに、また、平成16年度の体力度調査で国の基準である5，000点を下回り耐震性に問題ありとの結果となった。そのため、本町中学校は、新校舎建築に伴い、次年度解体予定の第3棟の一学年分を収容するため第4棟を改修、また、西中学校は、第1棟の機能を第2棟及び第3棟を改修して移し、今後の学校運営を行う。 【平成21年度の主な取組み】 本町中学校（第4棟の改修・渡り廊下の設置） 西中学校（第2棟、第3棟の改修・倉庫の設置）	本町中学校第4棟の改修		実施	実施	
			西中学校第2、3棟の改修		実施	実施	
			【平成21年度改善点】				

所管	改善度自己評価	担当	外部評価				点検・評価		
			幼稚園	小学校	中学校	平均	要　　旨	ランク	
									1
教育総務課	10	A	－	－	A	A	生徒が安全に安心して学習できる教育環境を確保、提供することが使命である。計画どおり実施されているが、今後も計画とおりに実施されたい。	A	1
教育総務課	10	A	A	A	－	A	園児・児童・生徒の安全、安心については、堪えず注意をはらい点検・評価していかなければならない問題であり、適正な判断の基に事業展開が図られた。 今後の耐震化対策について適切な対応を図られたい。	A	2
教育指導課	13	B	B	B	B	B	地域やPTAの人とともに子どもたちを育てる観点から、継続する必要性あり。今後の課題として、各地域の特色をより生かした取組み内容を研究することが考えられる。併せて、年度毎の取組みを総括しながら、次年度の子どもたちに生かすような連続性のある事業にする必要がある。	B	3
教育総務課	10	A	A	A	A	A	児童・生徒が一日の大半を過ごす学校施設の安全性・快適性の確保は、教育委員会の最優先課題である。学校建設公社は、施設の老朽化や経年劣化に適切に対応できるセーフティネットの役割を担っており、効率的・効果的な対応が図られている。	A	4
教育総務課	10	A	－	－	A	A	生徒が安全に安心して学習できる教育環境を確保、提供することが使命である。計画どおり実施されているが、今後も計画どおりに実施されたい。	A	5

	項　　目	目的・効果及び平成21年度の主な取組み	施策の目標				
			指標名	19年度（実績）	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度（目標）
6	新学習指導要領移行措置に伴う理科教材・教具の整備	【目的・効果】 「理科教育振興法」に基づき、理科教育の振興に寄与するため、必要な理科備品等の充実を図る。 【平成21年度の主な取組み】 小学校は平成23年度、中学校は平成24年度の新学習指導要領への完全移行に向けて、従来は現有率が低く、かつ近年対象校に選定されていない学校を優先的に選定して理科備品を整備してきたが、平成21年度は、この方法を中断し、新学習指導要領移行措置のための理科備品等を全22校で整備した。	小学校平均理科設備整備率	16.4%	17.3%	21.2%	23.2%
			中学校平均理科設備整備率	22.8%	22.9%	26.5%	28.3%
			【平成21年度改善点】 学校事務職員で組織する学校予算等検討部会等で、事前に各校の理科備品等の整備品目を調整・検討した。				
7	学校教育の環境整備、教育活動の充実の推進	【目的・効果】 小・中学校教育に必要な教材・教具の整備、学校図書館充実のための図書補助員の配置等教育環境の整備を推進し、教育活動の充実を図る。 【平成21年度の主な取組み】 小・中学校教育に必要な教材・教具の整備、学校図書館充実のための図書補助員の配置（1校当たり週2日）、学校独自に執行できる予算の配当等教育活動の充実を図る。	小学校図書標準充足率	86.2%	87.5%	集計中	90.0%
			中学校図書標準充足率	82.3%	86.0%	集計中	90.0%
			【平成21年度改善点】 学校事務職員で組織する学校予算等検討部会等で、事前に各校の教材・教具の整備品目を調整・検討した。				
8	新学習指導要領の実施に向けた、教育課程等に関わる調査研究の推進	【目的・効果】 新学習指導要領の実施に向け、趣旨に即した調査研究を進め、その成果を広範に還流し、学校教育の充実を図る。 【平成21年度の主な取組み】 ・研究部会の開催（月1回） ・「がっこうだいすきー協同的な学びとスタートカリキュラムの研究ー」の配布（各幼稚園、小学校1冊）H21年度末配布 ・「LET'S ENJOY ENGLISH 小学校外国語活動資料集2」の配布（小学校全教職員数、中学校担当者分）H21年度末配布 ・教育セミナーの開催（2回）　・教育研究発表会での発表（2回）	各種研修会における出席者の満足度	89.0%	80.0%	92.4%	100.0%
			研究部会への研究員の出席率	92.2%	85.7%	99.0%	100.0%
			【平成21年度改善点】 研究部会の成果発表だけでなく、講師による講演なども組み合わせて実施した。				
9	安全・安心な学校給食の推進	【目的・効果】 ・学校教育法に基づき、児童の心身の健全な発達に資するため、自校調理方式を継続し、安全性、衛生管理の確保に努め、委託校6校及び直営方式の7校での給食を実施した。 ・給食調理員の退職者不補充のなかで、安全・安心な学校給食を実施するため、給食調理業務の委託化を推進し、人件費の削減を図った。 【平成21年度の主な取組み】 「はだの行革推進プラン」を受け策定した民間委託実施計画に基づき、既に実施している、本町小・堀川小・大根小・南小・鶴巻小に続き、新たに西小学校の給食調理業務の民間委託を実施した。	調理業務委託校数	4	5	6	6
			【平成21年度改善点】 調理業務委託の更新手続き及び新規契約手続き時期を早めたことにより、引継ぎ等の事務処理がスムースにできた。				

所管	改善度自己評価	担当	外部評価				点検・評価		
			幼稚園	小学校	中学校	平均	要　　旨	ランク	
学校教育課	11	A	－	A	A	A	学校毎の整備状況の把握・比較等事務処理の効率化を図るため、整備品目のデータベース化を図ること。	A	6
学校教育課	11	A	－	A	B	B	教育環境をより良くするため、現場の声を取り入れて、工夫改善をしながらさらに予算の確保に努めること。	A	7
教育研究所	10	A	B	A	B	A	めまぐるしい社会の変化に対応しながら、教育が抱える喫緊の課題をテーマとした研究が行われている。今後も引き続き、社会の変化に適切に対応した調査研究を進めていくことが重要である。特に、一貫教育の推進にかかわり、各教科の一貫カリキュラムに見合った副教材の開発研究に着手する必要があると思われる。	A	8
学校教育課	11	A	－	A	－	A	安全・安心な給食の提供に向けて、さらに安全・衛生管理の徹底に努めるとともに、計画的に調理業務の民間委託を推進すること。	A	9

	項　　目	目的・効果及び平成21年度の主な取組み	施策の目標				
			指標名	19年度（実績）	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度（目標）
2　人権尊重、人間教育を基盤とした教育実践の継続により、いじめや不登校のない学校教育の充実を図ります。							
10	**道徳教育・人権教育の推進**	【目的・効果】 全国や県内の研修会に参加することにより、最新の人権課題を認識することができ、学校現場にそれを還元することにより、教職員の人権意識の向上を図ることができる。 また、市内の教職員を対象とした担当者会と研修会を実施し、人権意識の向上を図っている。 【平成21年度の主な取組み】 ・神奈川県地域人権運動連合会主催の「人権問題講演会」へ全小中学校の代表職員が参加 ・「全国人権・同和教育研究大会」へ教育委員会職員が参加 ・秦野市人権・同和教育担当者会 ・秦野市人権・同和教育研修会	「人権問題講演会」への参加人数	22人	22人	22人	22人
			「全国人権・同和教育研究大会」への参加人数	1人	1人	1人	1人
			担当者会及び研修会の開催回数	各1回	各1回	各1回	各1回
			【平成21年度改善点】 教職員の人権意識向上とともに、子どもたちに人権の大切さを伝える授業等の実践に結びつく研修を継続する。				
11	**いじめ・不登校対策事業の推進**	【目的・効果】 人権尊重、人間教育を基盤とした教育実践の継続により、いじめや不登校のない学校教育の充実を図ります。 【平成21年度の主な取組み】 ・小・中学校の教員を対象に、2日間ソーシャルスキル研修会を開催した。 ・学校が抱える具体的な支援や教育相談の方法等についての指導、今日的課題についての職員研修会の講師としての活用を目的に、各小・中学校に、年1回程度講師を派遣した。 ・教育支援相談員を小学校に巡回配置し、児童又は保護者かの学校教育及び家庭教育に関する相談に応じるとともに、問題行動の未然防止、早期対応等に向けた活動を行った。 ・中学校区の小学校・中学校が互いに連携をとり合いながら、いじめ根絶、不登校の課題解消に向けて、具体的な手立てを研究した。	いじめを考える児童生徒委員会委員参加率		100%	100%	100%
			いじめ認知件数の前年度比減少割合			8%	5%以上
			【平成21年度改善点】				
12	**適応指導教室の運営の充実**	【目的・効果】 不登校及び不登校傾向にある児童・生徒の将来の社会的自立に向け、学校生活（社会生活）に適応できるように支援・指導することを目的とし、適応指導教室いずみを運営する。 【平成21年度の主な取組み】 ・ケース会議においてスーパーバイザーの指導・助言を受けながらの通室児童生徒へのきめ細やかな支援 ・不足がちな社会体験を補い、将来の職業を考える進路指導の一環としての専門的な知識や技術を有する社会人講師を招いての体験学習の実施 ・小中学校連絡会や関係相談機関連絡会議の中での外部機関と情報交換 ・拡大保護者会における、通室の有無にかかわらず、不登校児童生徒を抱え悩んでいる保護者への支援	学校との連携(小中連絡会等への参加)	100%	100%	100%	100%
			いずみ通室児童・生徒の安定	78%	84%	80%	100%
			【平成21年度改善点】 各種会議の性質に合わせたスーパーバイザーの招聘を行い、効率的な会運営を行った。				
13	**小学校巡回教育支援相談事業の充実**	【目的・効果】 教育支援相談員が、本市の小学校を巡回し、いじめ、不登校、暴力行為その他問題行動に対する相談機能を高め、それらの未然防止及び早期対応を図るとともに、教職員に対して学校生活、学校教育等に関する適切な支援及び助言を行う。 【平成21年度の主な取組み】 教育支援相談員を各小学校（13校）に派遣	相談件数	578件	994件	429件	665件
			【平成21年度改善点】				
14	**里地里山自然環境活用学習の研究及び実践**	【目的・効果】 秦野市の自然環境を生かした自然体験型の環境教育を進めることにより、自然を大切にする気持ちをはぐくみ、自然を守ろうとする気持ち、自然に対する豊かな感受性、生命を尊重する精神、環境に関する関心を培う。また、地域特性をいかした幼小中の連携した活動を行う。 【平成21年度の主な取組み】 ・平成20年度より、全幼稚園、全小・中学校に研究委託 ・平成21年度初めに平成20年度の実績報告書を配布 ・平成21年度末に、各中学校区において情報交換会を開催 ・平成22年度初めに平成21年度の実績報告書を配布	研究委託金の執行率	－	100%	100%	100%
			研究実績報告書の提出園校数	－	36園校（100%）	36園校（100%）	36園校（100%）
			【平成21年度改善点】 中学校区ごとに情報交換会を開催し、課題や反省点を洗い出すとともに近隣の幼稚園、小・中学校相互の情報交換を行った。				

所管	改善度自己評価	担当	外部評価				点検・評価		
			幼稚園	小学校	中学校	平均	要　　旨	ランク	
									2
教育指導課	11	A	B	A	B	A	子どもたちに教える立場として、また一教師として、人権意識を高めるため、それぞれの研修会に参加することは大切なことである。各教育現場においては、研修内容を確認し啓発しながら、教育実践に生かすように図ってほしい。	A	10
教育指導課	12	A	－	A	A	A	いじめ、不登校をなくそうという問題意識を堅持しつつ、子どもたちを温かい目で見守ることが大切である。常日頃より、ニーズに応じて専門家等各機関のアドバイスを受けられるような態勢づくりを図る必要がある。	A	11
教育研究所	11	A	－	A	A	A	不登校及び不登校傾向にある児童生徒の学校生活（社会生活）適応に向けて、子どもたち一人ひとりに対してきめ細かな支援が行われている。学生ボランティアや社会人講師など民間の人材の活用にあたり、民間指導者の支援スキルの管理や、学生ボランティアに対し研修、指導の場の設定を考える必要がある。	A	12
教育研究所	10	A	－	A	－	A	児童生徒の問題行動が多様化する中、問題の早期発見、早期対応のための相談体制作りは欠かせない。相談員派遣について学校現場からの要望が強く、相談員一人あたりの相談件数もかなり多くなっていることから、相談員の増員が望まれる。	A	13
教育研究所	12	B	B	A	B	A	秦野市の自然環境を生かした体験型の環境教育を進めるとともに、各中学校区で同じ自然環境フィールドを活用した幼小中一貫教育の視点を取り入れた取組みも可能であると考える。各園・校の研究にあたり、幼稚園、小学校、中学校それぞれについて委託料が一律に支払われているが、立地環境は地区によって違いがあり、状況に応じた委託、支援が必要である。	B	14

	項　　目	目的・効果及び平成21年度の主な取組み	施策の目標				
			指標名	19年度（実績）	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度（目標）
15	情報モラル教育の推進	【目的・効果】 携帯電話やインターネットに関連するトラブルに巻き込まれることを防止するために、正しい知識と利用方法を学び、子どもたちがお互いに良好なコミュニケーションを作り上げようとする態度を育てる。また、教職員は、研修を通して具体的に指導する方法を培う。 【平成21年度の主な取組み】 情報教育担当者会議	年1回開催	1回	1回	1回	1回
			【平成21年度改善点】 教材開発業者から専門的な講師を招いて研修を深めた。				
16	はだのっ子アワード事業の推進	【目的・効果】 秦野の自然、風土、産業、伝統、文化その他の地域資源をいかした学習機会及び体験機会における子どもたちの努力を顕彰し、ふるさと秦野を愛する子どもたちを育む。 【平成21年度の主な取組み】 ・平成19年度ふるさと秦野検定部門2級・3級を実施（受検者228名）、文芸部門（表彰者17名）を実施 ・平成20年度ふるさと秦野検定部門1・2・3級を実施（受検者182名）、文芸部門（表彰者21名）、体験活動部門（エリア賞5名）実施 ・平成21年度ふるさと秦野検定部門1・2・3級を実施(受検者169名）、文芸部門（表彰者21名）、体験活動部門（エリア賞5名、アワード4名）実施	ふるさと秦野検定受検者数	85.7%	68.4%	64%	100%
			体験活動部門エリア賞及びグランプリ受賞者数	―	38.5%	38%	100%
			【平成21年度改善点】 より多くの子どもたちが取り組むものとなるようチラシを配布したり、ポスターを掲示したりした。				

所管	改善度自己評価	担当	外部評価				点検・評価		
			幼稚園	小学校	中学校	平均	要　　旨	ランク	
教育指導課	11	A	－	A	B	A	携帯電話やインターネットの危険性を子どもたち、保護者に発信できるよう最新の事例等の情報の収集に努め、適切な指導を行う必要があると思われる。必要に応じた予算化も今後検討する必要がある。	B	15
教育研究所	11	A	－	A	A	A	子どもたちの努力を顕彰し、子どもたちの郷土愛を育む事業は大変意義があり、事業開始時と比較して事業内容が充実してきている。今後も啓発の機会を増やし、継続性を持って取り組むことが重要である。	A	16

	項　　目	目的・効果及び平成21年度の主な取組み	施策の目標				
			指標名	19年度（実績）	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度（目標）
3　子ども一人ひとりの教育ニーズに対応した教育の充実を図ります。							
17	**学力の定着・向上に向けた教育の充実**	【目的・効果】 「確かな学力」の定着、「豊かな心」の育成のために、家庭・地域との連携のあり方、子どもや園・学校の実態に基づいた主体的な問題解決学習、体験的学習の充実等を図り、特色ある園・学校づくりの研究を推進する。 【平成21年度の主な取組み】 ・特色ある園・学校づくりの研究を推進する教育課程研究を全幼稚園・小学校・中学校教育研究会に委託 ・小中一貫教育研究を1小学校・1中学校教育研究会に委託 ・小学校国語・算数研究実験学校を3小学校教育研究会に委託	研究委託先教育研究会数	36	36	36	36
			教育実践報告の件数	42	42	43	44
			【平成21年度改善点】 今日的な教育ニーズを踏まえ、教育研究所の研究委託と合わせ、整理、統合を行った。				
18	**体力の向上、健康の増進に向けた教育の充実**	【目的・効果】 中学校の部活動活性化と生徒・保護者のニーズに対応するとともに、小規模校または人事異動等による顧問不足の課題を抱えている学校を支援するための非常勤の部活動顧問を派遣する。 非常勤顧問は独自で生徒の指導や大会の引率、大会役員出張などが可能になるため、教職員の負担も軽減される。 【平成21年度の主な取組み】 ・対象部活動の運営及び所属する生徒の部活動指導及び部活動に関して派遣者の専門的技能を活かした指導。 ・対象部活動の大会引率及び大会役員。 ・中学校生徒の生活指導全般。 ・部活動顧問・部活動指導協力者研修会に参加した。	実施校数	2	2	3	3
			派遣人数	2	2	3	3
			【平成21年度改善点】				
19	**特別支援教育・就学指導の充実**	【目的・効果】 心身に障害がある児童・生徒の教育を充実させるため、必要な教材・教具を整備するとともに、特別支援学級への就学の特殊事情を考慮して保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の振興を図る。 【平成21年度の主な取組み】 特別支援学級の運営に必要な教材・教具を整備する予算を学校に配当するとともに、保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力に応じて就学のために必要な経費の一部を支給する特別支援教育就学奨励事業を実施する。	教材・教具の整備費〈千円〉	4,373	4,663	4,067	3,673
			特別支援教育就学奨励費〈千円〉	4,665	5,083	5,941	6,048
			【平成21年度改善点】				
20	**教育指導助手派遣事業の充実**	【目的・効果】 ・小・中学校児童生徒への教科指導による基礎的・基本的事項の内容理解及び定着をより一層図るとともに、生活指導による基本的生活習慣の形成等、学校への適応力を高める。 ・通常級に在籍するLD・ADHD・高機能自閉症等の児童生徒に対して、適切な指導及び必要な支援を行う。 【平成21年度の主な取組み】 ・市内全小学校に49名、2中学校に2名の教育指導助手を派遣。 ・1日4時間勤務、前期90日・後期95日の全185日、学校の授業日に派遣。	小学校派遣人数	32名	44名	47名	49名
			中学校派遣人数	2名	2名	2名	2名
			【平成21年度改善点】 小学校児童生徒への教科指導による基礎的・基本的事項の内容理解及び定着や生活指導による基本的生活習慣の形成等の学校生活への適応を一層図るため、さらには通常級に在籍するLD・ADHD・高機能自閉症等の児童への適切な指導及び必要な支援を行うため小学校への派遣者数を昨年度より2名増員した。				
21	**特別支援介助員経費**	【目的・効果】 市立小・中学校の特別支援学級に、児童・生徒の学習生活や日常の生活を支援し、特別支援教育の充実を図るため、介助員を派遣する。 【平成21年度の主な取組み】 学習活動の補助・休み時間の安全確保・学校行事、校外学習における引率介助・生活介助等、障害を持つ児童・生徒が必要とする動作を自力で行えない時に本人の意思を尊重しながら適切な支援をした。	配置介助員数	27名	32名	32名	34名
			派遣校	10校	12校	13校	14校
			【平成21年度改善点】 派遣のニーズのある学校は増えているが、介助員任用総数は変わらないため、研修会を充実させ、各学校の情報交換をする機会を作るよう心がけた。				

所管	改善度自己評価	担当	外部評価				点検・評価		
			幼稚園	小学校	中学校	平均	要　　旨	ランク	
									3
教育指導課	11	A	A	A	B	A	幼小中一貫教育の実践で「確かな学力」の定着と「豊かな心」の育成に効果が期待できると考えられる。引き続き研究を推進するとともに、特色ある幼稚園、学校づくりに努めてほしい。	A	17
教育指導課	11	A	－	－	B	B	生徒、保護者の評価も高い事業であり、今後も事業として継続して実施する必要がある。優秀な人材の発掘、登用に努めてほしい。	A	18
学校教育課	10	A	－	A	A	A	現に有する教材・教具の有効活用・有効利用を図りながら、不備・不足については、これの解消に向けた予算の確保に努めること。	A	19
教育指導課	10	A	－	A	B	A	確かな学力を定着させるための施策として欠くことのできない事業である。教育指導助手の数を着実に伸ばしている点は評価すべきである。適切な支援が必要とする児童生徒に確実に支援を行うことができるよう、引き続き配慮をお願いしたい。 事業として継続することを望む。	A	20
教育指導課	11	A	－	A	B	A	障害の多様化、重複化傾向がみられる特別支援学級の児童・生徒に対して、きめ細かな対応を図るために、介助員の質の向上及び介助員の増員が今後必要となる。特別支援教育にとって重要な事業であり、今後の継続を求めたい。	A	21

	項　　目	目的・効果及び平成21年度の主な取組み	施策の目標				
			指標名	19年度（実績）	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度（目標）
22	小学校外国語活動への対応と中学校英語活動の充実	【目的・効果】 外国語指導助手（ALT）としてネイティブスピーカーを小中学校に配置し、小学校外国語活動及び中学校英語学習への意欲向上と、コミュニケーション能力の向上を図る。 授業でALTと接することにより、英語や世界への興味関心を高め、言語活動を実践する機会を保障できる。 【平成21年度の主な取組み】 ・小中学校における体験的な言語活動による授業の実施 ・平成18・19年度は、市民協力者1名、業務委託3名、市独自採用非常勤職員1名（計5名）を配置 ・平成20年度は、市民協力者1名、業務委託4名（計5名）を配置 ・平成21年度は、市民協力者1名、業務委託5名（計6名）を配置 ・平成21年度は、上智短期大学生による、授業支援を開始	小学校（13校）実施時間数	931	1,239	2,083	2,100
			中学校（9校）実施時間数	1,215	1,179	1,222	1,200
			【平成21年度改善点】 新学習指導要領移行年度なので、小学校高学年で始まる外国語活動への対応を踏まえ、ALTを1名増員するとともに、上智短期大学生の授業支援を導入し、児童への指導の充実を図った。				
23	学習支援協力者派遣事業の充実	【目的・効果】 小学校の学級における学習障害児（LD）、注意欠陥/多動性障害児（ADHD）、高機能自閉症児、集団への不適応児童等への教育的対応を行うため、支援協力者を派遣する。 【平成21年度の主な取組み】 支援協力者を募集し、学校からの要請により、支援者を派遣した。また、具体的な支援内容・支援方法を把握・構築するために必要なアセスメントを臨床心理士に依頼して作成した。	支援協力者	24名	31名	28名	33名
			派遣校	11校	9校	9校	13校
			【平成21年度改善点】 臨床心理士のアセスメントをもとにした具体的な支援内容・支援方法等の情報交換を、担任と支援者が十分できるよう、支援した日の記録を残すようにした。				
24	外国人児童生徒日本語指導推進事業の充実	【目的・効果】 日本語指導を必要とする外国人児童・生徒の増加に伴い、言葉の問題から生ずるさまざまな事柄の解消を図り、よりよい生活が送れるよう指導・助言するために指導協力者を市内の小・中学校に派遣する。 【平成21年度の主な取組み】 ・小中19校に対して、6言語12名の日本語指導協力員を派遣。 ・日本語習得のための指導・助言 ・基本的生活についての指導・助言、児童生徒の教育相談 ・家庭訪問及び面接等における通訳、相談 ・外国人児童・生徒のための文書翻訳	実施校数	19校	19校	19校	19校
			年間総実施時間数	1089時間	1061時間	1130時間	1279時間
			【平成21年度改善点】 日本語指導協力者に対する謝礼額を、平成20年度まで1時間4,000円で実施してきたが、21年度から3,500円とした。				
25	幼・保、小、中一貫教育の研究及び実践	【目的・効果】 「小1プロブレム」「中1ギャップ」など児童・生徒指導上の問題の対応や学力向上という学習指導の面からも有効な取り組みであり、子どもの発達や学年の段階を踏まえたなめらかな接続を必要とされている。 【平成21年度の主な取組み】 ・小・中学校連携（一貫）モデル校の推進 ・就学前教育と小学校との連携実践研究 ・教育研究所研究部会における小中一貫教育の視点からの副教材にかかわる研究	就学前教育と小学校の連携実践研究	2学区	2学区	3学区	5学区
			小・中学校連携（一貫）モデル校	1学区	1学区	1学区	2学区
			【平成21年度改善点】				

所管	改善度自己評価	担当	外部評価				点検・評価		
			幼稚園	小学校	中学校	平均	要　　旨	ランク	
教育指導課	10	A	－	A	A	A	新しい学習指導要領の改訂で必修となった小学校の外国語活動において、ネイティブスピーカーによる体験的な学習がより求められることから、ALTの役割が今後も増す傾向にある。外国語教育の充実を図る上でも、ALTの増員は必須だと思われる。上智短期大学との連携をより深めていく必要もある。	A	22
教育指導課	11	A	－	A	－	A	通常級に在籍する発達障害等の児童の学力の保証という観点から、効果的な施策であると思われる。大学生、大学院生を中心に優秀な人材の確保に努めつつ、継続して実施する必要がある。	B	23
教育指導課	11	A	－	A	B	A	外国人児童生徒の学校生活におけるストレスの軽減のために日本語指導協力者の配置は必要である。指導員の派遣は日本語指導の面ばかりでなく、生活面の指導や相談においても有効であることから、指導員の増員や派遣時間の延長を検討する必要がある。	A	24
教育指導課 教育研究所	11	A	B	A	B	A	一貫したカリキュラムの作成や交流事業の推進など、研究は着実に、確実に進んでいる。研究の成果を、全幼稚園、小・中学校に啓発していくことが必要である。また一貫教育の視点の中に、秦野の環境を生かした秦野らしさのある一貫教育を進めていくことが重要である。	A	25

	項　　目	目的・効果及び平成21年度の主な取組み	施策の目標				
			指標名	19年度（実績）	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度（目標）
4	市民の自主的主体的な学習文化活動を支援するとともに、地域、学校、行政の連携による特色ある事業を実施し、生涯学習の振興を図ります。						
26	放課後の安心で安全な居場所の確保	【目的・効果】 地域の方々の参画を得て、放課後等の安全・安心な子どもの活動拠点（居場所）の確保を図り、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境をつくる。 【平成21年度の主な取組み】 文化・スポーツ活動などを通じて放課後の子どもの居場所を確保する事業を実施する。	「放課後子ども教室」への参加人数		60	66	65
			「放課後子ども教室」の開催数		6	15	14
			【平成21年度改善点】				
27	市展、文化祭の開催等市民の文化活動の支援	【目的・効果】 市民の文化活動の奨励、普及向上を図り、ゆとりと潤いのある人づくりを目指して、市展、文化祭、子どもの市展を開催する。 【平成21年度の主な取組み】 ・市展の開催（美術・書道・写真の三部門） ・文化祭の開催（全20団体参加） ・子どもの市展（美術・書道・写真の三部門）	出品者数（市展・子どもの市展）	1,369	1,365	1,400	1,435
			入場者数	13,519	25,172	25,500	25,800
			【平成21年度改善点】 文化祭の開催形態について検討を開始したい旨、委託先である秦野市文化団体協議会に依頼した。				
28	広畑ふれあい塾等学習成果を生かす機会の充実	【目的・効果】 高齢者が今まで培ってきた、知識、技術を多くの人に還元し、合わせて高齢者の生きがい作り、仲間作りを推進することを目的とする。 【平成21年度の主な取組み】 ・各種講座の開設 ・会員相互の発表会の開催	ふれあい塾講座開設数	70	67	65	68
			受講者数	1,278	1,294	1,244	
			【平成21年度改善点】 広畑ふれあいプラザ以外への事業拡大について検討を行った（平成22年度西地区で実施）。				
29	中学生の交流洋上体験学習の実施	【目的・効果】 日頃体験できない洋上での集団活動を通して、中学生の交流と連帯を深めるとともに、自主性・自立性をはぐくむ。 【平成21年度の主な取組み】 ・平成18年度から広域連携事業として、1市3町で実施 ・平成20年度から二宮町が参加 ・平成21年度から清川村が新たに加わり、現在1市4町1村で実施	参加者数	77人	81人	98人	100人
			【平成21年度改善点】				
30	文化財の調査、保存、普及啓発の実施	【目的・効果】 市民の文化財に対する認識を深め、文化財愛護精神を啓発するために、市民に文化財に接する機会を提供するとともに、文化財を後世に遺すために、保存管理上必要な施策を講じる。 【平成21年度の主な取組み】 ・文化財特別公開の開催 ・文化財めぐり ・市指定重要文化財保存修理のための所有者への補助 ・市指定重要文化財の保存管理経費として所有者に管理奨励金の交付 ・必要によって文化財調査を行う。（二子塚古墳調査、東田原中丸遺跡調査、曽屋水道など）	文化財特別公開参加者数	550	700	1,101	1,115
			文化財修理補助件数	1件	2件	1件	1件
			【平成21年度改善点】				

所管	改善度自己評価	担当	外部評価				点検・評価		
			社会教育委員	図書館協議会委員	スポーツ振興審議会委員	平均	要　　旨	ランク	
									4
生涯学習課	13	B	B	－	－	B	この事業は期待も大きく、先ず上小学校で実施したことは評価できる。参加率も高く、本事業の評価は高いが、さらに他地域で実施できるだけのノウハウなどを手に入れる努力が必要である。回数はさらに増やすことが必要なのではないか。	A	26
生涯学習課	16	B	A	－	－	A	外部評価者の評価が高いのは「救い」であるが、他の評価は高いとは言えない。ややマンネリの感は免れない。しかし、これまでの歴史には意味があり、展示の在り方、この事業が子どもに与えた影響など、ここで点検評価を一度行う必要がある。	B	27
生涯学習課	11	B	B	－	－	B	わが国の社会構造から、この事業は大変興味深く、有用な取組みと思われる。また、プログラムも詳細で市のバックアップ体制も効果を上げているが、今後は広く他の地域でも展開されることと、実施、参加者の自立的、主体的プログラムの作成ができることを期待する。	B	28
生涯学習課	19	B	A	－	－	A	チェック項目による自己評価と、Ⅰ～Ⅲ欄の評価に齟齬があり、この事業の難しさが見える。これは評価の視点によるものであり、この事業の目的を再度明確にして、その上で市としてコストに見合うかどうかの議論をする必要がある。（当事者は優れた取組みと考えるが、現時点では多くの市民の理解は困難と思われるので止めてもよい）	B	29
生涯学習課	12	B	A	-	-	A	本事業は、成熟した社会にあって必要な取組みであるが、必要性と財務上の限界をも理解しなければならない。社会全体で本事業を継続するためにも高校生、大学生を含め社会の多くの人々のボランティア活動など、協力と認識を必要とする。そのためのシステム作りを急ぐ必要がある。	B	30

	項　　目	目的・効果及び平成21年度の主な取組み	施策の目標				
			指標名	19年度（実績）	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度（目標）
5　生涯スポーツの普及に向け、活動への支援と施設の充実に努めます。							
31	**スポーツ施設等指定管理者制度検討委員会（仮称）の設置**	【目的・効果】 スポーツ施設については指定管理期間の満了に伴い、21年度から市が管理運営をすることになったが、指定管理者制度の再開について、委員会を設置して、指定管理者を再導入するのか、市が管理運営することが良いのかを検討し、もって、経費節減や市民サービスが図れる。 【平成21年度の主な取組み】 ・21年8月に市と財団により、「指定管理者導入3年間の総括」を作成した。 ・21年9月に文教福祉常任委員会協議会に対して、「指定管理者導入3年間の総括」の報告を行った。	委員会の開催数			0	
			【平成21年度改善点】				
32	**中央運動公園等の整備事業の実施**	【目的・効果】 市民が中央運動公園等の施設を安全・安心に、スポーツ活動や施設利用ができるように施設の補修や設備更新を行う 【平成21年度の主な取組み】 平成21年度(工事) 中央運動公園野球場塗装、中央運動公園陸上競技場本部席屋根等改修、総合体育館給湯設備更新、サンライフ鶴巻屋上防水　等 （きめ細かな臨時交付金：平成21年度繰越明許） 中央運動公園野球場外壁塗装、中央運動公園テニスコート改修、中央運動公園陸上競技場走り幅跳び走路改修等	工事の箇所数	3箇所	8箇所	6箇所	1(6)箇所
			利用人数	669,359名	697,058名	723,259名	730,000名
			【平成21年度改善点】				
33	**第5回はだの丹沢水無川（みなせ）マラソン大会等各種大会の開催**	【目的・効果】 スポーツ大会の開催と各種大会への選手派遣により、市民の健康づくり・体力づくりを図るとともに、競技力の向上を目指し、体育・スポーツ・レクリエーション活動の活性化を図る。 【平成21年度の主な取組み】 第5回はだの丹沢水無川マラソン大会、スポーツレクリエーションフェスティバル、市、県総合体育大会、納涼大会、さわやかウォーク、元旦歩け歩け運動推進大会、市・かながわ駅伝競走大会ほかを開催した。	開催事業数	13	13	13	12
			参加人数		17,697	16,340	17,000
			【平成21年度改善点】 中央納涼大会においては、やぐらを廃止し、経費の節減に努めるとともに、市駅伝競走大会とスポーツレクリーエーションの参加料を徴収した。				
6　快適で市民の役に立つ図書館を目指し、図書館サービスを充実します。							
34	**開館日を拡大するとともに、南足柄市、山北町及び開成町と広域利用を進める等、図書館サービスを充実**	【目的・効果】 新たな施設改善、読書推進及び来館促進、利便性及び安全性向上策等を実施し、快適で、市民の役に立つ図書館を目指す。 【平成21年度の主な取組み】 平成21年4月から、前年度実施の利用者満足度調査において最も要望の多かった開館日の拡大を実施。また、市民の生活圏の広域化に対応するため、新たに南足柄市、山北町及び開成町と広域利用協定を締結。これにより、秦野市民は県内最多の近隣18市町村図書館の相互利用が可能となった。さらに、インターネットや電話での図書貸出延長サービスを開始 その他、喫茶コーナー、リユースコーナーの試行、発行元と調整した就職情報紙やローカル紙の配布等を実施	来館者数（人）	245,782	252,267	275,441	280,000
			図書貸出点数	530,055	555,143	603,731	615,000
			【平成21年度改善点】 開館日の拡大、広域利用協定の拡大等				
35	**長寿命化修繕計画に基づき空調機器を更新**	【目的・効果】 新築後24年以上を経過した図書館の維持管理について、平成20年度に実施した長寿命化修繕計画に基づき、施設・設備の計画的な更新・改修を行い長寿命化を図る。 【平成21年度の主な取組み】 ・図書館空気調和設備修繕工事 ・非常放送用アンプ及び火災受信設備更新工事（繰越明許） ・池噴水設備整備工事（繰越明許） ・電気時計更新工事（繰越明許）	図書館来館者数	245,782	252,267	275,441	280,000
			【平成21年度改善点】 繰越分工事費については、国の交付金で執行				

所管	改善度自己評価	担当	外部評価				点検・評価		
			社会教育委員	図書館協議会委員	スポーツ振興審議会委員	平均	要　　旨	ランク	
									5
スポーツ振興課	12	B	－	－	B	B	関係部署と連携を深め、指定管理者制度の効果、課題等についてを整理し、方向性を見出すことが望まれる。	B	31
スポーツ振興課	10	A	－	－	A	A	市民がスポーツ活動をする拠点施設は、安全で、安心面を最優先すべき課題であるので、財政難の折であるが、整備などには特段の意を注ぐ必要がある。	A	32
スポーツ振興課	13	B	－	－	B	B	大会参加費の徴収など財源確保に努めているが、大会によっては市が実施することに疑問もあり、他による実施が可能である大会を洗い出し、秦野市スポーツ振興財団だけに限定せず、秦野市体育協会などスポーツ関係団体に移行することが必要である。	B	33
									6
図書館	12	A	－	A	－	A	生涯学習にとって重要な場である図書館の諸活動に、アイデアと創意を凝らし、常に創造的な活動の展開に努めていることを大いに評価したい。 社会の要請や市民のニーズはさらに複雑、多様化する中で、市民サービスの充実に今後とも努めていただきたい。	A	34
図書館	11	A	－	A	－	A	本市では、滞在型、課題解決支援型の図書館を目指し、活動の推進に努めているので、今後ともこの基本的な理念が具現化できるよう、施設維持管理等の環境づくりに努めていただきたい。	A	35

<table>
<tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2">項　　目</th><th rowspan="2">目的・効果及び平成21年度の主な取組み</th><th colspan="5">施策の目標</th></tr>
<tr><th>指標名</th><th>19年度
（実績）</th><th>20年度
（実績）</th><th>21年度
（実績）</th><th>22年度
（目標）</th></tr>
<tr><td rowspan="3">36</td><td rowspan="3">子ども読書活動及びブックスタートの推進</td><td rowspan="3">【目的・効果】
「秦野市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもが読書に親しむ機会の提供、子どもの読書環境の整備を行う。

【平成21年度の主な取組み】
・読み聞かせボランティア養成のため、「楽しい絵本とおはなしの講座」（全10回）を開催
・小学校、幼稚園等教員向けに初の「絵本の読み聞かせ講座」を開催
・上智短期大学と連携し、全国初の継続的な図書館での「英語のおはなし会」を開催
・ブックスタート事業については、引き続き、ボランティアグループや奉仕団体等と協働で実施
・ブックスタート実施前と実施後の保護者の動向等の比較を含めアンケート調査を実施し、事業の効果を検証</td><td>児童、学生登録者数（館内、自動車、公民館）</td><td>1,608</td><td>1,644</td><td>1,810</td><td>2,000</td></tr>
<tr><td>児童、学生貸出点数</td><td>64,325</td><td>64,087</td><td>69,058</td><td>72,500</td></tr>
<tr><td colspan="5">【平成21年度改善点】

ボランティアグループの育成等</td></tr>
<tr><td rowspan="3">37</td><td rowspan="3">歌人の里づくりの推進</td><td rowspan="3">【目的・効果】
郷土の歌人である前田夕暮及び谷鼎の残した文学遺産を受け継ぎ、子どもから大人まで共に参加でき、郷土愛を育むことのできる、短歌を活用したまちづくりを進める。

【平成21年度の主な取組み】
・郷土文学資料の収集と研究
・第22回夕暮祭短歌大会を、第61回全国植樹祭のプレ大会の機運を高める事業として位置づけ、規模を拡大して実施（全国から3，651首応募）、第23回夕暮記念こども短歌大会の開催（2，286首応募）、第3回全日本ジュニア短歌大会への参加（市内から1，534首応募）
・郷土文学叢書の販売等</td><td>夕暮祭短歌大会応募作品数</td><td>120</td><td>132</td><td>3,651</td><td>3,528
（実績）</td></tr>
<tr><td>夕暮記念こども短歌大会応募作品数</td><td>2,538</td><td>2,801</td><td>2,286</td><td>2,500</td></tr>
<tr><td colspan="5">【平成21年度改善点】

夕暮祭短歌大会の応募要領を関東一円に配布</td></tr>
</table>

所管	改善度自己評価	担当	外部評価				点検・評価		
			社会教育委員	図書館協議会委員	スポーツ振興審議会委員	平均	要　　旨	ランク	
図書館	12	A	－	A	－	A	「秦野市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動を推進するために環境整備、読書活動に関する理解、関心を深める啓発活動等に努めている。 今後は、図書館が中心となり、学校などの関係機関と連絡を密にし、さらなる啓発とともに、活動の充実に努めていただきたい。	A	36
図書館	11	A	－	A	－	A	郷土の歌人にちなんで短歌を活用したまちづくりを進める施策には共感、共鳴を覚える。 今後とも、学校や市民団体等と連携し、短歌のまち「秦野」を目指して努力していただきたい。 なお、特色ある図書館を目指し、郷土が生んだ偉人、文人（例えば日本初の女性文学博士である故 近藤いね子津田塾大学名誉教授等）を発掘し、展示、紹介することも必要と考える。	A	37

	項　　目	目的・効果及び平成21年度の主な取組み	施策の目標				
			指標名	19年度（実績）	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度（目標）
7　「はだの子ども教育プラン」を見直し、新たに「はだの教育プラン（仮称）」の策定に取り組みます。							
38	「はだの教育プラン(仮称)」策定委員会の設置	【目的・効果】 平成16年3月に、秦野教育の方向性を示し、本市教育の基本理念として策定された「はだの子ども教育プラン」を今日的教育ニーズをもとに見直し、教育基本振興計画の性格を有する「はだの教育プラン（仮称）」を策定するため、策定委員会を設置する。 【平成21年度の主な取組み】 ・「はだの教育プラン（仮称）」策定にかかわる教育委員学習会の開催 ・「はだの教育プラン（仮称）」ワーキング部会の開催	策定委員会委員参加率	－	－	－	100
			【平成21年度改善点】 （新規事業）				
8　第６１回全国植樹祭開催への協力及び周知に努めます。							
39	秦野市中学生吹奏楽団参加事業の実施	【目的・効果】 天皇・皇后両陛下ご臨席のもと、全国からのお客様を心から歓迎するとともに植樹祭の意義をより多くの青少年・市民の方々に広めるために、秦野市立中学校吹奏楽部員による吹奏楽団「はだのジュニアウィンドオーケストラ」を編成し、式典当日に演奏を行う。 【平成21年度の主な取組み】 ・「With youありがとう」吹奏楽用楽譜の編曲依頼及び作成 ・吹奏楽団の練習 ・プレ植樹祭への参加 ・市民の日全国植樹祭開催記念イベントへの参加 ・第61回全国植樹祭への参加	アレンジ楽譜（全パート）の完成	－	－	100%	－
			【平成21年度改善点】 初めての取組みである。				

	項　　目	目的・効果及び平成21年度の主な取組み	施策の目標				
			指標名	19年度（実績）	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度（目標）
40	宮永ポストカード（丹沢）新規発行	【目的・効果】 第61回全国植樹祭を記念し宮永岳彦記念美術館では、豊かな緑と美しい水を育む丹沢と秦野市のアトリエで創作活動を行った宮永画伯を多くの方に知っていただくため画伯が描いた丹沢の風景のポストカードを作成した。 【平成21年度の主な取組み】 丹沢の絵柄4種類を1組としたポストカードを作成。広く周知を行うとともに美術館、コンビニ、弘法の里湯売店、秦野駅名産センター等で発売した、また、広く周知するため関係機関及び関係者に配布した。	売上数			826セット	20セット
			【平成21年度改善点】 単年度事業				
41	はだの丹沢水無川マラソン大会参加賞へのロゴマークの活用	【目的・効果】 「第5回はだの丹沢水無川マラソン大会」の参加者等に対して、参加賞Tシャツへロゴマークのプリント及びのぼり旗の設置して、第61回全国植樹祭をPRした。 【平成21年度の主な取組み】 参加者3,536名分のTシャツ、大会スタッフ660名分のジャンパーにロゴマークをプリント及び会場である総合体育館の周辺にのぼり旗を設置した。	参加人数及び大会スタッフ			4,196	
			【平成21年度改善点】				
42	夕暮祭短歌大会の拡大実施	【目的・効果】 郷土出身の歌人前田夕暮を偲び、短歌の普及と発展に寄与することを目的に、秦野短歌会に委託し、昭和61年から開催。平成21年度は、次年度開催の第61回全国植樹祭の機運を高めるために規模を拡大して実施。 【平成21年度の主な取組み】 植樹祭記念として規模を拡大して実施するため、関東地区の短歌結社等へのチラシ配布、短歌雑誌への募集要項掲載等により広く投稿を呼びかけた。 植樹祭記念のため、「一般の部（自由題）」に加え、「緑」に関わる言葉を詠みこんだ「題詠の部」を新設した。小中学生の応募数が多かったため、新たに奨励賞を新設した。以上により、過年度の約30倍近い応募をいただいた。	夕暮祭短歌大会応募作品数	120	132	3,651	3,528（実績）
			【平成21年度改善点】 小中学校への呼びかけ、募集区域の大幅拡大、選者・選考方式の変更				

所管	改善度自己評価	担当	外部評価				点検・評価		
			幼稚園	小学校	中学校	平均	要　　旨	ランク	
									7
教育研究所	12	B	B	A	B	B	平成２１年度は、教育総務部、生涯学習部各課の担当者によるワーキング部会を立ち上げ、教育プラン策定のための資料を作成したり、教育委員学習会を開催したりした。２２年度は、「策定委員会」を設置し、教育委員会内外から幅広く意見を聴く必要がある。	B	38
									8
教育指導課 教育研究所	10	A	－	－	A	A	全国植樹祭を盛り上げるため、市内全中学校の吹奏楽部員からなる吹奏楽団「はだのジュニアウィンドオーケストラ」が編成されたことは意義深く、限られた時間の中で練習会を重ね、プレ植樹祭や市民の日全国植樹祭開催記念イベントへ参加し、演奏することで、全国植樹祭に向けた雰囲気づくりに一役かったことは、大変評価できる。	A	39

所管	改善度自己評価	担当	外部評価				点検・評価		
			社会教育委員	図書館協議会委員	スポーツ振興審議会委員	平均	要　　旨	ランク	
生涯学習課	10	B	B	－	－	B	植樹祭開催にあたっての発行であるが、宮永岳彦記念美術館及び画伯のPRという面から見たら有効な事業であったと思われる。今後もグッズ、ポストカード等の作成にあたっては創意工夫に努めて欲しい。	B	40
スポーツ振興課	10	A	－	－	A	A	はだの丹沢水無川マラソン大会の参加賞やスタッフジャンパーにロゴマークを入れて開催したことは、全国に向けて全国植樹祭を発信できたと思う。	A	41
図書館	11	A	－	A	－	A	全国植樹祭の開催を有効に活用した結果、全国から多数の応募があった。関係者の努力に感謝したい。	A	42

第４章　学識経験者の知見

『教育行政点検・評価の教育総務関係に対する総合的評価』

神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部社会福祉学科
神奈川県立保健福祉大学大学院保健福祉研究科
教授　　小　林　正　稔

はじめに

「教育」は、秦野市の将来構想にとって『要』であることを否定する者はいないと思う。同時に、「教育」は漸次積み上げて行くものであり、一朝一夕に完成しないことも異論の無いところである。さて、昨今の学校を取り巻く「課題」はますます多様化、複雑化しており、価値観の共有もますます難しくなっているなかで、いかに「秦野教育」の伝統を守りながら、革新性を持って発展させて行くが、最も今日的な課題になっていると考える。

その意味で、今後策定される「はだの教育プラン（仮称）」は教育の独立性を確保しながら秦野市の“大人”たちが、未来を担う児童・生徒に「どのように育って欲しい」と考えているか、またそのための『環境』を積極的に整備しようと取り組んでいるかの“哲学”を示していただけるものと大いに期待している。公教育は、コミュニティの基盤を担う大切な役割を持っており、地域文化の継承・発展、地域社会の関係性の維持・発展にも大いに貢献しなければならないと思考する。その役割が担えてこそ、社会情勢の変化に耐え、５０年後１００年後の大計を図ることができ独立性を確保できるのである。“独立性”の意味を履き違え、“独善性”にならないように、真摯な姿勢で、これまで同様、今後とも努力を惜しまないことを教育委員会に期待する。

１　教育委員会の活動状況について

教育委員会の活動状況は、一定のレインマンコントロールは確保されており、情熱を持って職務を果たしていることは充分に評価できる。平成２１年度は、数々の緊急的課題が起こるなか、精力的に多くの案件を審議し、さらに、現場視察を行い学校の現状について把握し、また市長部局との懇談会を通じて相互理解に努めている様子は、報告書の内容からも容易に推察できる。さらに、事務局も円滑な教育委員会の運営のために工夫を重ね、教育委員の審議を活性化するための支援に努めていること、透明性・公平性を確保するために情報公開に努めていることも評価できる。しかしながら、多くの業務に忙殺されたためか、「秦野教育」としての基盤をな

す“哲学”の部分での論議があまり見受けられないのが、今ひとつ消化不良の感が否めない。

委員長を始め、各員は高い見識を持つ方々なので、マクロ的視野に基づいた、方向性を示す『灯台』的意見を期待するのは欲張りだろうか？五里霧中の現代だからこそ必要なことであり、市民感覚であろうと推察する。「はだの教育プラン（仮称）」の策定を良い機会として教育委員会これまで以上の積極的な情報開示を期待したい。

２　平成２１年度主要施策（教育総務部門）について

全３６施策の自己評価の内、３３施策がＡ評価、３施策がＢ評価となっており、内容的にも評価自体が形骸化しているのではないかという懸念を感じる。評価方法について、次年度に向けて検討をしていく必要も感じる。教育行政評価は、一般行政評価と同様な手法をとることはやぶさかではないが、教育行政のなかには、緊急的・即時的なものから、普遍的・継続的なものがあり、同じ評価手法では違和感を禁じ得ない。施策毎に重みづけをするなど、施策実態と整合性の高い方法を検討願いたい。

（１）校舎、教育環境関係

小・中学校の校舎は、児童・生徒の安全を確保するだけでなく、大災害時には、市民の安全、命を守る砦である。耐震化工事は、積極的に取り組まれているが、さらに耐震化のスピードを速めるよう努力いただきたい。また、建て替えが必要な校舎については、秦野市全体の公共施設再配置等の情勢を踏まえ、今後、地域コミュニティのコア（核）となる施設として活用できるように計画を進めるよう、市長部局との調整をしていただきたい。その際、耐久年度が残っている校舎等であっても、総合的な見地から早期に立て替えが必要と判断された場合は、積極的に対応することも望まれる。児童・生徒にとって、学校の校舎は、人生のランドマーク的な意味もあるので、「子どもたちが誇れる学校」という視点も検討されたい。

里地里山自然環境の活用については、具体的な活用の方向性を出すことと、具体的な活用が急務であると感じる。新学習指導要領でも示されている通り、エコロジカル（生態学的）な視点は、今後の教育の根幹であるので、秦野の自然がそのまま「教室」となるよう期待したい。

（２）学校教育関係（全般）

新学習指導要領移行に伴う、教材研究等をはじめとして、小・中学校の教材、備品等の充実については、今後も予算の確保も含めて努力願いたい。同時に、秦野市

民の力も借りながら、「生きた教育」を思考していただきたい。学力向上が急務であることは理解できるが、児童・生徒が「学ぶ」意欲を持たなければ、最高の教材も、最高の教育技術も何の役にも立たないことは言うまでも無いことである。児童・生徒も生活している市民である。児童・生徒のＱＯＬを向上させることができれば、自然と学習意欲も沸いてくる。市民感覚の無い教育は、教育とは言えないので、その点の再考を願いたい。

特に、幼・保、小、中一貫教育の研究は、「小１プロブレム」や「中１ギャップ」の解消だけが目的ではない。教育が持つ漸次積み上げの本分に立ち返り、横糸に縦糸を組み合わせ、人生を織りなすためのものであると考えが必要である。学力を向上させれば「小１プロブレム」や「中１ギャップ」の解消が可能であるという考え方は、稚拙、独善的と言わざるを得ない。より、積極的な改善を願いたい。

（３）学校教育関係（特別支援教育・教育相談）

秦野市教育委員会が、これらの問題に積極的、革新的に取り組んできた歴史については、良く承知しており、また敬意を持っているが、評価の内容が、前時代的な感覚であり、インクルージュン教育の視点からずれている感が否めない。特別支援教育は特殊教育の継承ではない。きちんとした視点を持った評価を願いたい。不登校対策も、神奈川県の方向性が、単に不登校問題解決に留まらず、「登校支援」という感覚の中で、全ての児童・生徒の教育を受ける権利を保障して行こうという視点で構成され、今後としては、暴力行為等も含めたなかで、総合的に学校と家庭の「関係性（リレーションシップ）」を図り、児童・生徒の人権を守ろうという姿勢を示しているのに比して、評価の視点がずれている感じがする。教育相談については、対処療法的活用だけでなく、日常的な広がりのある活用を期待したい。

３　まとめ

全体としては、「秦野教育」は、伝統に基づき、不断の努力を続けていることは、示されていると感じている。それだけに、「評価」は、さらに向上、発展のための道標で無ければならないという思いから、敢えて「辛口」に総合的評価をさせていた。秦野が児童・生徒を「宝」思う教育を今後も続けて行くという、期待と共に！

『教育行政点検・評価の生涯学習関係に対する総合的評価』

東海大学課程資格教育センター
教授　逢　坂　伸　一

はじめに

１９６５年（昭和４０年）のユネスコでの生涯教育についての提言に基づいて、わが国においても、平成２年の「生涯学習の振興のための施策の推進体制などの整備に関する法律」を踏まえた都道府県での生涯学習推進施策に呼応するかのように、秦野市においても、社会教育委員会議などでの協議を経て、平成９年には、「秦野市生涯学習推進計画」が策定されて現在に至っている。このことを踏まえて、近年の秦野市の教育行政が生涯学習社会の構築に向けて、どのように展開されているかという観点から教育行政事業を検証してみたい。

１　学習環境の整備

（１）放課後の安心で安全な居場所の確保

平成１６年度より「放課後子供プラン」、あるいは、平成１９年度から「地域子供教室推進事業」として文部科学省が実施している内容を参考に、全国各地で展開されている。秦野市の場合には、ひとつの小学校区での事業であり、必ずしも全市的な事業として実施されているわけでないことから、本当に必要な事業であるのか否かについて検証も必要であると考えられる。したがって、より良い効果を生み出すことの出来る事業としての取り組みの意欲が感じられない点を指摘しておきたい。

（２）中学生交流洋上体験学習

他の市町村では、参加者減少などを理由に取りやめになっている事業であるが、秦野市の場合、地域内他市町村への働きかけなどが幸いして、従来どおりに実施されていることは、市民部局と教育委員会との垣根を越えた生涯学習関連セクション同士が協力し合う事業としての効果であるという点で評価することが出来、また、費用対効果という観点から事業の見直しが相次いでいる現状においての数少ない継続事業であることも認識し、点検・評価シートでの自己評価でも指摘されているように、さらに、民間や市民の協力可能部分の検討、あるいは、参加者のその後の追跡調査などを実施するなどして、更なる成果が加えられるように努力を続けてほしい事業であろう。

２　市民の学習への支援

（１）市展、文化祭の開催等市民の文化活動の支援

文化活動の奨励、啓発の為に、積極的に支援することは大切なことであろうが、自己点検・評価シートの指摘にもあるように、場合によっては、公平性や予算計上面での観点から、様々な検証が続けられることは必要であろう。秦野市民の文化意識向上の為にも、従来とは異なる手法や方法についても市民とともに話し合うことなど、より一層の啓発活動が続けられなければならないと考えられる。

（２）広畑ふれあい塾等学習成果を生かす機会の充実

地域の人々の努力によって展開されている事業への行政としてのかかわり方を検証するにふさわしい事業であると同時に、同様事業を市内各地で展開できるように啓発・支援する試みも評価に値する。ただし、行政の支援が積極的になりすぎると、市民自身の自主性や意欲を損なうことも考えられるので、適度に、地域住民の活動を見守る姿勢も望まれる。

同じく、広畑ふれあいセンターを会場として実施されている「ふれあい通学合宿事業」も８年目を迎えて、行政のかかわり方も含めて新たな方向の検証に入り始めていることについても注目すべきであろう。

（３）図書館サービスの充実

開館日の拡大や広域利用協定の締結、インターネットや電話での対応など、市民の意見を十分に取り入れての事業の実施は、市民の側からも、かなり満足のいく展開であったと評価することが出来るが、公共施設としての真のあり方や施設改善計画、あるいは、新しい時代に対応した図書館への転換のための研究体制作りなどの検討も早急に取り組むべき事項であると思われる。

そのほか、「歌人の里づくり推進事業」や「夕暮祭短歌大会の拡大実施事業」などの学習支援も、郷土に根付いた事業としての継続的な実施は重要であり、今後もより一層充実することが望まれる。と同時に、市民への啓発の努力と工夫が、さらに深まることも期待したい。

（４）はだの丹沢水無川マラソン大会など

第５回を迎えて、参加人数も増加傾向にあり、市民の関心度も高い事業であるが、そのほかにも、スポーツレクリエーションフェスティバル、納涼大会など、市民の健康増進と体力向上などを目指した事業が多く実施されており、市民のプログラム

選択の幅は比較的広いと思われるが、市民自身が主体的に運営にかかわることの出来るチャンスを想定できるような事業を試みることも検討すべきであろう。

３　啓発と推進

（１）　図書館の事業

「秦野市子供読書活動推進計画」にもとづき、こども読書活動のための環境整備などを通じて，読書意欲の増進を積極的にはかり，あるいは，ボランティアグループなどとの連携によるブックスタート事業の継続実施など、市民との協働による図書館事業の積極的な推進には、高い評価を与えることが出来る。今後は、推進計画にこだわることなく、秦野市民としての現状を逐一把握しながら、より地域性のある事業に発展していくことが望まれる。

（２）文化財調査、保存、普及啓発事業

自己点検・評価シートでも指摘されているとおり、市民に対する啓発活動がより一層望まれる事業であると同時に、歴史や文化の伝承の為の社会教育事業として、さらに高い位置に設定すべきものと考えられる。

４　その他

（１）指定管理者制度の検討について

平成１５年の地方自治法改正の目玉として設定された「指定管理者制度」も最初の委嘱期間を終了する地域が多く、外部選考委員の選定方法の見直しなど、それぞれ第二期としての新たなに検証が必要とされているが、地域の団体や企業などの活性化が期待されてスタートしながらも、各市町村における指定管理者は、今回も、大手の企業や、いわゆる、ＪＶなどである場合が目立っている。

例えば､平成２２年４月に､不幸にも水死者を出してしまった公共施設の場合も、３月までは教育委員会のもとでの管理運営であったものが、４月１日より、二つの出版社が合同で設立した事業体に委ねられた直後の出来事であったことも、偶然の不幸な出来事と見過ごすべきことではなく、また、他人事と片付けてしまう性質ものでもなく、新たな指定管理者選定の場合には、肝に銘じ、より一層慎重なる扱いが求められるべきであろう。

今後の課題

平成２１年度秦野市教育委員会基本方針における生涯学習に関する課題として、市民の自主的主体的な学習文化活動を支援すること、生涯スポーツの普及にむけて

の支援と施設の充実、さらに、市民の役に立つ図書館を目指すことがうたわれており、それぞれの事業がより積極的に実施されている状況はうかがえるが、教育委員会基本方針などに基づいて、どのような方向に向かおうとしているかの統一性や整合性が必ずしも明確に示されているとは思えない点を指摘しておきたい。

また、それぞれの事業、あるいは秦野市としての生涯学習支援のための方向性に対してのどの部分に相当するのかなどについての説明を点検・評価シートで読み取ることが出来れば、さらにより良い評価が出来るものと思われる。あるいは、それぞれについての市民の側からの評価・点検が為されることが可能であれば、次年度以降の政策策定に良い影響を与えることも考えられよう。

なお、教育事業の中の生涯学習に関する事業について、自己点検・評価シートを中心に検証を試みたが、報告書作成に当たって、若干の物足りなさを痛感した。

それは、「はじめに」でも示したように、生涯学習社会という観点での整理を試みようとしながらも、手元にお預かりした資料は、教育委員会生涯学習部の実施事業資料が殆どであり、生涯学習社会の構築という将来を見通しての検証に及ぶことが出来なかったことである。かつての生涯学習部の中には、文化会館、あるいは、青少年課などが加わっており、秦野市の青少年の将来を見通した秦野市の未来像を思い描きながら検証することが出来たのだが、今回は、主として、図書館のこと、スポーツ振興のことに限られているからである。したがって、部分的な事業に限っての意見の提示しか出来なかったことをお許しいただきたい。

しかし、内容の精査は出来なかったものの、教育委員会会議の審議等の状況のうち、教育長報告案件１２８件中、学校教育に直接かかわる事項以外に、生涯学習、あるいは社会教育に関するものが５０件以上もあることに安堵したことも付記しておきたい。

また、今後は、教育行政に限らず、全ての市民のための学習にかかわる部分を網羅した上での、事業の点検・評価が出来るようなシステムの構築を検討していただければ幸いである。

おわりに

秦野市教育委員会による平成２１年度の「教育行政点検・評価報告書」を提出いたします。

この点検・評価も３年次を迎えました。今年度も昨年度に引き続き、具体的な教育委員会の施策を、より客観的に評価・点検するねらいから、２０年度末に秦野市教育委員会が設定した「平成２１年度に取り組むべき主要施策とその具体事業」を代替性、経済性、有効性、社会環境変化、必要性等１０項目の観点による「点検・評価シート」を共通に用いながら実施しました。

もとより教育は、教育基本法に定める教育の目的や理念を踏まえ、（秦野においては秦野市教育委員会教育目標の実現に向け）人の育成、支援に努め、よりよい姿への成長、変容を期待するものです。そのような特性上、事業内容によっては代替性や経済性といった観点がなじまないものもありますが、共通の観点による点検作業を行うことによって、ひとつひとつの事業・施策の進行状況や成果、有効性を改めてじっくりと確認及び吟味することができたと考えています。

しかし反面、各論的視点により現在実施している施策、事業を評価することに傾注するあまり、総論的・展望的な論議、検討が欠如していないかという問いを真摯に考える必要があると思います。それは逢坂先生ご指摘の「生涯学習社会の構築という将来を見通しての検証」、「秦野市の青少年の将来を見通した秦野市の未来像を思い描きながら検証すること」の必要性であり、小林先生ご指摘の「秦野教育としての基盤をなす“哲学”論議」の大切さや「“独立性”の意味を履き違え“独善性”にならないように真摯な姿勢」で臨むことの必要性に関わるものです。そのためにも私たちは、常に秦野市教育委員会教育目標を念頭に置き、今日的な意味やねらいを明確に持ちながら、各施策、事業の遂行にあたることが求められると思います。

今後この「教育行政点検・評価」は、今年度策定予定の秦野市教育委員会教育目標実現のための実施計画である「はだの教育プラン―秦野市教育振興基本計画― 」の評価及び進行管理としての位置づけを併せて担うものとなります。今回の点検評価の結果を踏まえながら、今後も引き続き、教育目標に示されている期待する人間像の育成、支援に向けた取組みに尽力してまいりたいと考えています。

最後に、ご多用にもかかわらず、本年度も学識経験者として総合的な評価をいただきました神奈川県立保健福祉大学教授小林正稔先生、東海大学教授逢坂伸一先生に厚く感謝申し上げます。併せて、点検・評価にご協力いただいた秦野市立幼稚園長、こども園長、小学校長、中学校長の皆様、さらに社会教育委員、図書館協議会委員、スポーツ振興審議会委員の皆様にも、心より感謝を申し上げます。

平成２２年８月
秦野市教育委員会
神奈川県秦野市桜町一丁目３番２号
電　話　０４６３－８４－２７８３
ＦＡＸ　０４６３－８３－４６８１